

令和7年度龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会

日時：令和7年7月15日（火）

午後2時から

場所：龍ヶ崎市役所5階全員協議会室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 会長、副会長の選任について

(2) 龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画の進捗管理について

(3) その他

4 閉 会

龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画

(令和5年度～令和9年度)

令和6年度進捗管理シート

令和7年度事業計画

令和7年7月
スポーツ推進課

第3次スポーツ推進計画 事業一覧・目次

事業名			ページNo.
政策1 スポーツ・運動を通じた生きがい・健康づくり			
施策1 誰もが気軽に健康づくりやスポーツ・運動に親しめる機会・場の充実			P.1
事業 No.	事業名	担当課	
1-1-1	ウォーキングの普及・促進	健康増進課／スポーツ推進課	P.2
1-1-2	スポーツ教室等の充実	スポーツ推進課	P.3
1-1-3	スポーツ大会・イベントの充実	スポーツ推進課	P.4
施策2 子どものスポーツ・運動の機会の充実			P.5
事業 No.	事業名	担当課	
1-2-4	スポーツ協会やスポーツ少年団等との連携	スポーツ推進課	P.6
1-2-5	運動部活動の地域連携・地域移行に向けての検討・外部指導者の活用	指導課／文化・生涯学習課／スポーツ推進課	P.7
施策3 地域におけるスポーツ・運動の機会の充実			P.8
事業 No.	事業名	担当課	
1-3-6	身近な場所でのスポーツ・運動の充実	健康増進課／スポーツ推進課	P.9
1-3-7	ニュースポーツの推進	スポーツ推進課	P.10
1-3-8	スポーツ推進委員の活動促進	スポーツ推進課	P.11
政策2 競技スポーツの推進			
施策1 スポーツ団体活動の活性化			P.12
事業 No.	事業名	担当課	
2-1-9	スポーツ協会活動の活性化・支援	スポーツ推進課	P.13
2-1-10	スポーツ少年団活動の活性化・支援	スポーツ推進課	P.14
2-1-11	総合型地域スポーツクラブの運営・活動への支援	スポーツ推進課	P.15
施策2 スポーツ指導者やアスリートの育成			P.16
事業 No.	事業名	担当課	
2-2-12	スポーツ指導者の養成・資質向上とアスリートの競技力向上	スポーツ推進課	P.17
2-2-13	国際・全国大会の出場者に対する支援・応援	スポーツ推進課	P.18
施策3 流通経済大学との連携			P.19
事業 No.	事業名	担当課	
2-3-14	流通経済大学運動部の活動支援	スポーツ推進課／まちの魅力創造課	P.20

2-3-15	流通経済大学の人材・ノウハウを生かした連携	スポーツ推進課／まちの 魅力創造課／指導課	P.21
2-3-16	流通経済大学運動部との交流・応援促進	まちの魅力創造課	P.22
政策3 スポーツによるにぎわいづくり			
施策1 本市にゆかりのあるスポーツ選手等との連携による魅力発信			P.23
事業 No.	事業名	担当課	
3-1-17	スポーツイベント等におけるオリンピック・トップアスリートとの交流・連携	スポーツ推進課／秘書広 聴課	P.24
施策2 競技スポーツ公式戦開催等による交流の促進			P.25
事業 No.	事業名	担当課	
3-2-18	市内外から多くの人が参加できるスポーツ大会等の開催	スポーツ推進課	P.26
3-2-19	競技スポーツ大会の開催促進	スポーツ推進課	P.27
施策3 スポーツを基軸とした産学官の連携			P.28
事業 No.	事業名	担当課	
3-3-20	スポーツツーリズムの推進	スポーツ推進課	P.29
3-3-21	プロスポーツ等を利用した交流人口の増加	スポーツ推進課	P.30
政策4 スポーツ環境の充実			
施策1 スポーツ施設の充実・有効活用			P.31
事業 No.	事業名	担当課	
4-1-22	スポーツ施設の機能・設備の充実	スポーツ推進課	P.32
4-1-23	利用しやすい施設運営とサービスの充実	スポーツ推進課	P.33
4-1-24	学校体育施設の開放事業の促進	スポーツ推進課	P.34
施策2 スポーツを通じた共生社会の推進			P.35
事業 No.	事業名	担当課	
4-2-25	障がい者スポーツの推進・環境整備	スポーツ推進課／福祉総 務課／障がい福祉課	P.36
4-2-26	女性のスポーツ実施率の向上	スポーツ推進課	P.37
施策2 スポーツに関する情報提供の充実			P.38
事業 No.	事業名	担当課	
4-3-27	スポーツ施設・教室・大会等に関する情報提供の充実	スポーツ推進課	P.39
4-3-28	スポーツ団体に関する情報提供の促進	スポーツ推進課	P.40

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート							政策1 施策1		
政策1		スポーツ・運動を通じた生きがい・健康づくり									
施策1		誰もが気軽に健康づくりやスポーツ・運動に親しめる機会・場の充実									
主な事業		1-1-1	ウォーキングの普及・促進								
		1-1-2	スポーツ教室等の充実								
		1-1-3	スポーツ大会・イベントの充実								
目標数値 ★単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	★	健康マイレージ登録者数【健康増進課】	人	1,822 (令和元年度)	目標 実績	3,100 3,222	3,400 3,541	3,700	4,000	4,300	
			%	—	達成度	104	104	0	0	0	
	☆	体を動かし、スポーツ等に親しむ機会・施設への満足度	%	47.7 (令和3年度) まちづくり市民アンケート	目標 実績	— —	— —	— —	52	52	
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	0	
					目標 実績						
			%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	進捗状況		評価事項								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■		健康マイレージの登録者は年々増加しており、目標値を超えた実績となっている。各種スポーツ教室は、市民に身近なコミュニティセンターで実施することで地域住民が気軽に参加しやすく、特にストレッチ講座は未経験の方でも始めやすい運動として好評であった。子どもをメインターゲットとした市民スポーツ・レクリエーションまつり等のイベントやスポーツ大会もその参加者数は前年度に比べ増加しているが、より多くの参加者を呼び込むため運営方法も改善していく必要がある。									

政策1 施策1

事業No.	1-1-1	事業名	ウォーキングの普及・促進				担当課	健康増進課／スポーツ推進課			
事業内容			ウォーキングに係る講座やイベントを継続的に実施するとともに、ウォーキングコースの周知や運動の習慣化に向けた動機付けを行う取組を支援するなどウォーキングの普及に努めます。						予算額 ※千円	決算額 ※千円	
									351	229	
令和6年度計画			【健康増進課】 (1)流通経済大学と連携した健康ウォーキング講座を開催 (2)てくてくロードについてホームページや広報紙等を通じてコースの紹介及び完歩賞等の周知等を行う。 (3)健康マイレージ事業についてPR活動を行い、登録者の増加に努める。 【スポーツ推進課】 (1)指定管理者事業 ウォーキングタイムを開催(15回程度)								
令和6年度実施内容			【健康増進課】 (1)流通経済大学と連携した健康ウォーキング講座ウォーキング講座を春季5月に5回、秋季10月に4回開催した。 (2)健診時や、ウォーキング講座などの各種講座の際に健康マイレージ事業のPRを行い、登録者の増加に努めた。 (令和6年末現在の登録者3,541人) 【スポーツ推進課】 (1)指定管理者事業 ウォーキングタイムを開催(15回 延べ113人)								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	健康マイレージ登録者数 【健康増進課】	人	1,822 (令和元年度)	目標	3,100	3,400	3,700	4,000	4,300	
			%	—	実績	3,222	3,541				
					達成度	104	104	0	0	0	
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			【健康増進課】 熱中症対策のための開催時期の検討やコースの選定が課題である。 【スポーツ推進課】 指定管理者事業においてウォーキングタイムを実施した。寒暖差が激しい月については実施せず、安全に配慮した取り組みを行った。今後も継続して行っていく必要がある。								
令和7年度計画			【健康増進課】 (1)流通経済大学と連携した健康ウォーキング講座を開催 (2)てくてくロードについてホームページや広報紙等を通じてコースの紹介及び完歩賞等の周知等を行う。 (3)健康マイレージ事業についてPR活動を行い、登録者の増加に努める。 【スポーツ推進課】 (1)指定管理者事業 ウォーキングタイムを開催(15回程度)								
予算額 ※千円	305										

政策1 施策1

事業No.	1-1-2	事業名	スポーツ教室等の充実				担当課	スポーツ推進課				
事業内容			総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室やイベントの開催、指定管理者が有するノウハウを生かしたスポーツ教室の充実など、子どもから高齢者まで幅広い年代のニーズに対応しながら、市民の体力・健康づくりを支援します。						予算額 ※千円	決算額 ※千円		
									2,714	2,353		
令和6年度 計画			(1)総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室やイベントの開催 ・地域スポーツ推進事業 ストレッチ講座 ・ニュースポーツ推進事業 ・アクアスロン(デュアスロン)大会 (2)指定管理者と連携し、中学生向けのスポーツ教室や、幅広い年代向けのスポーツ・運動の習慣化に向けた動機付け等、多様なニーズに合わせた教室を実施する。 (3)市広報紙「りゅうほー」へスポーツ教室の募集記事を掲載するなど、市民へ広く周知し参加者の増加を図る。									
令和6年度 実施内容			(1)総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室やイベントの開催 ・地域スポーツ推進事業 ストレッチ講座（火曜：9:30～10:30、水曜：9:30～10:30 実施回数：72回／延べ984人） ・ニュースポーツ推進事業 スナッグゴルフ、バグジー、ラダーゲッター、まいりゅうコロコロ等（実施回数：20回／延べ401人） ・アクアスロン(デュアスロン)大会（実施日：11/24／延べ35人） (2)指定管理者と連携し、中学生向けのスポーツ教室や、幅広い年代向けのスポーツ・運動の習慣化に向けた動機付け等、多様なニーズに合わせた教室を実施する。 ・ウォーキングタイムを開催（金曜：10時～12時 実施回数：16回／延べ78名） (3)市広報紙「りゅうほー」へスポーツ教室の募集記事を掲載するなど、市民へ広く周知し参加者の増加を図った。									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値		種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
		☆	体を動かし、スポーツ等に親しむ機会・施設への満足度	%	47.7 (令和3年度) まちづくり市民アンケート	目標	—	—	—	52	52	
				%	—	実績	—	—	—			
				%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	0	
進捗状況			事業推進上の課題									
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室やイベントの開催が多く行われており、高い評価を得られている。 今後も、継続的に行う必要がある。									
令和7年度 計画			(1)総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室やイベントの開催 ・地域スポーツ推進事業 ストレッチ講座 ・ニュースポーツ推進事業 ・たつのこスポーツフェスティバル (2)指定管理者と連携し、中学生向けのスポーツ教室や、幅広い年代向けのスポーツ・運動の習慣化に向けた動機付け等、多様なニーズに合わせた教室を実施する。 (3)市広報紙「りゅうほー」へスポーツ教室の募集記事を掲載するなど、市民へ広く周知し参加者の増加を図る。									
予算額 ※千円	1,660											

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1 施策1

事業No.	1-1-3	事業名	スポーツ大会・イベントの充実	担当課	スポーツ推進課	
事業内容			市民スポーツフェスティバルや市民スポーツ・レクリエーションまつりをはじめ誰もが気軽に楽しめる各種スポーツ大会・イベントを開催し、様々なスポーツに親しむ機会を提供します。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					2,253	2,487
令和6年度 計画			(1)市民スポーツ・レクリエーションまつりの開催 (2)市民スポーツフェスティバルの開催 (3)県民駅伝への参加			
令和6年度 実施内容			(1)市民スポーツ・レクリエーションまつり 10月12日(土)開催 参加者数:延べ2,500人 (2)市民スポーツフェスティバル 9月～12月開催 団体数:14団体 参加者数:3,710人 (3)県民駅伝への参加 12月7日(土) 結果:14チーム中9位			
進捗状況			事業推進上の課題			
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			市民スポーツ・レクリエーションまつりは、令和5年度には新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、4年ぶりに開催され、延べ2,000人の参加者が訪れたが、令和6年度は令和5年度をさらに上回る、延べ2,500名の参加者が訪れた。令和6年度には、広報で新たにスクリレの導入を行ったことによる参加者増加に繋がったと考えられる。また、より事業を盛り上げるためには、新しい種目の追加や運営方法、多くの協賛をいただくこと等を改善していく必要がある。			
令和7年度 計画			(1)市民スポーツ・レクリエーションまつりの開催 (2)市民スポーツフェスティバルの開催 (3)県民駅伝への参加			
予算額 ※千円		2,492				

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート							政策1 施策2		
政策1		スポーツ・運動を通じた生きがい・健康づくり									
施策2		子どものスポーツ・運動の機会の充実									
主な事業		1-2-4	スポーツ協会やスポーツ少年団等との連携								
		1-2-5	運動部活動の地域連携・地域移行に向けての検討・外部指導者の活用								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	新体力テスト総合評価でC以上の児童生徒の割合 【指導課】	%	児童 73.5 生徒 80.6 (令和3年度)	目標	児童 75 生徒 82	児童 75 生徒 82	児童 78 生徒 84	児童 78 生徒 84	児童 80 生徒 85	
				実績	児童 72 生徒 70	児童 67 生徒 62					
			%	—	達成度	児童 96 生徒 85	児童 89 生徒 76	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	☆	体育の授業以外にスポーツや運動をしている児童生徒の割合	%	児童 65.8 生徒 70.6 (令和3年度)	目標	—	—	—	—	児童 68 生徒 71	
				実績	—	—	—	—			
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
						目標					
					実績						
				%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
進捗状況		評価事項									
【スポーツ推進課】 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒		目標値である「新体力テスト総合評価でC以上の児童生徒の割合については、児童生徒ともに目標にとどいていない。特に中学校については、目標を大きく下回っている。部活動は平日2時間、休日3時間の活動、平日と休日に1日ずつ休養日を設ける等、茨城県部活動の運営方針の基、適切な休養の時間を確保して活動に取り組めるようにしている。今後も、普段から運動に親しむ態度を育てるとともに、健康な生活を送ることで体力の向上を目指す。目標数値については、見直しが必要である。 市民スポーツ・レクリエーションまつりやスポーツ少年団本部交流会については、多くの参加者が参加し、概ね参加者からは好評を得られた。									

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1 施策2

事業No.	1-2-4	事業名	スポーツ協会やスポーツ少年団等との連携	担当課	スポーツ推進課	
事業内容			スポーツ少年団同士の交流活動を支援するとともに、スポーツ協会等によるイベントの開催や指定管理者等が実施するスポーツ教室など、子どもが気軽にスポーツに親しめる機会を充実します。また、スポーツ団体の継続的活動を支援することで子どものスポーツ・運動の場を確保します。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					2,350	2,161
令和6年度計画			(1)市民スポーツ・レクリエーションまつりの開催 (2)スポーツ少年団本部交流大会の開催 (3)スポーツ少年団加盟団への大会出場時バス助成金交付 (4)スポーツ少年団加盟団への学校施設夜間開放使用料の免除 (5)スポーツ少年団加盟団へのスポーツ施設使用料の減免			
令和6年度実施内容			(1)市民スポーツ・レクリエーションまつり 10月12日(土)開催 参加人数:延べ2,500人 (2)スポーツ少年団本部交流大会 2月2日(日)開催 種目:スポーツ鬼ごっこ 参加人数:178人 (3)大会出場時バス助成金交付 団体数:9団体 (4)学校施設夜間開放使用料の免除 団体数:17団体 (5)スポーツ施設使用料の減免 大会時 団体数:10団体 大会数:14大会 練習時 団体数:2団体			
進捗状況			事業推進上の課題			
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			市民スポーツ・レクリエーションまつりは延べ500人増、スポーツ少年団交流大会は76人増と、前年度よりも参加者数は増加している。 スポーツ少年団等の団員数は減少傾向にあるため、団体の活動が継続・活性化できるよう引き続き多角的な支援をしていく必要がある。			
令和7年度計画			(1)市民スポーツ・レクリエーションまつりの開催 (2)スポーツ少年団本部交流大会の開催 (3)スポーツ少年団加盟団への大会出場時バス助成金交付 (4)スポーツ少年団加盟団への学校施設夜間開放使用料の免除 (5)スポーツ少年団加盟団へのスポーツ施設使用料の減免			
予算額 ※千円		2,350				

政策1 施策2

事業No.	1-2-5	事業名	運動部活動の地域連携・地域移行に向けての検討・外部指導者の活用			担当課	指導課／文化・生涯学習課／スポーツ推進課				
事業内容			国や県のガイドライン等を踏まえ、休日の運動部活動の段階的な地域連携・地域移行に取り組みます。また、外部指導者の活用やスポーツ団体が行うスポーツ指導者の講習会開催を支援します						予算額 ※千円	決算額 ※千円	
									7,390	6,768	
令和6年度計画			【指導課】 (1)部活動指導員を配置することで、部活動の複数顧問体制の整備を推進する。 ・中学校4校における部活動指導員を1人ずつ配置し、部活動指導(週6時間以内)を実施 ※長山中学校(吹奏楽部)、城西中学校(柔道部)、城ノ内中学校(陸上部)、龍ヶ崎中学校(バレー部) ・専門的な知見と経験を踏まえた指導を実施することにより、生徒のニーズに応えられる環境を整備 ・部活動地域移行を見据えた、部活動指導員1人体制での指導を実施 【文化・生涯学習課】 (1)片内関係課による検討会議開催 (2)モデルクラブ(野球・サッカー)での実証事業の実施 (3)外部のスポーツ関係団体の代表者による協議会の開催(年間3～4回程度) (4)令和7年度以降の地域移行について(予算の確保) 【スポーツ推進課】 (1)スポーツ団体が行うスポーツ指導者講習会の開催を支援する。 (2)各中学校運動部にアンケートを実施し、派遣要望のあった中学校にスポーツ指導者バンクに登録のある指導者の派遣を行う。								
令和6年度実施内容			【指導課】 (1)中学校4校に部活動指導員を1人ずつ配置し、部活動指導(週6時間以内)を実施 城西中学校(柔道部)、龍ヶ崎中学校(バレー部)、長山中学校4～7月(吹奏楽部)、城ノ内中学校4～8月(陸上部) 【文化・生涯学習課】 (1)龍ヶ崎市地域クラブ活動ガイドライン策定(令和6年5年) (2)NPO法人クラブ・ドラゴンズと業務委託契約を締結し、令和6年8月から令和7年2年まで野球部及びサッカー部で実証事業実施 (3)使用料手数料検討委員会にて、保護者負担金(会費)について設定(令和7年4月より運用) (4)地域クラブ活動事業実施規則、部活動地域移行事業実施要綱策定(令和7年4月より施行) (5)部活動の地域移行検討会6回実施 (6)龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会3回実施 (7)教職員、小6児童、中1・2年生徒、保護者、野球・サッカー部員への説明会実施(延べ31回、令和6年1月～2月) 【スポーツ推進課】 (1)スポーツ指導者講習会(8/31) 参加者33名 (2)スポーツ指導者派遣事業(市スポーツ協会事業) 派遣実績:5中学校 3競技 指導者5名 龍ヶ崎中学校:ソフトテニス/城西中学校:卓球/長山中学校:卓球/ノ内中学校:卓球/中根台中学校:陸上競技								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	体育の授業以外にスポーツや運動をしている児童生徒の割合	%	児童 65.8 生徒 70.6 (令和3年度)	目標	—	—	—	—	児童 68 生徒 71	
			%	—	実績	—	—	—	—		
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			【指導課】 ・部活動指導員を市内全校に配置する予定だが、募集しても応募がなく、採用にいたらないことが課題である。 ・部活動指導の時間が週6時間以内となっているため、十分な指導時間が確保できていないのが実情である。 ・部活動の地域展開に合わせて、部活動指導員の確保について検討する必要がある。 【文化・生涯学習課】 ・国・県の方針に基づき、顧問、保護者、生徒、地域クラブ指導者との合意形成を図っていく。 ・新たな移行先となる団体には優遇措置を検討し、体制づくりを進める。 ・教員の部活動に対する意識を改めながら、働き方改革を進める。 ・平日の地域展開に向けてロードマップを作成する。 ・吹奏楽部の地域展開に向けての環境整備。 【スポーツ推進課】 ・今後も指導者のニーズに応じた講習会を開催し、参加者の増加を図るとともに、スポーツ指導の知識と技術の向上を図っていく。また、指導者派遣事業については令和7年度10月から全部活動の地域移行を検討しているため、文化・生涯学習課との連携を密に取りながら、事業の推進を行っていく必要がある。								
令和7年度計画			【指導課】 (1)部活動指導員を配置することで、部活動の複数顧問体制の整備を推進する。 ・中学校2校における部活動指導員を1人ずつ配置し、部活動指導(週6時間以内)を実施 ※城西中学校(柔道部)、龍ヶ崎中学校(バレー部) ・市内全校に部活動指導員を配置できるよう、採用の募集を継続する 【文化・生涯学習課】 (1)片内関係課による検討会、スポーツ・文化芸術関係団体代表者による協議会開催 (2)10月からの休日地域展開に向けて、関係団体・地域クラブ指導者と連絡・調整 (3)各中学校、教職員・保護者・生徒説明会の実施 (4)部活動適正数に向け、削減・拠点校化していく部活動の選定 (5)新たなスポーツ、文化・芸術活動の環境整備 【スポーツ推進課】 (1)スポーツ団体が行うスポーツ指導者講習会の開催を支援する。 (2)各中学校運動部にアンケートを実施し、派遣要望のあった中学校にスポーツ指導者バンクに登録のある指導者の派遣を行う。								
予算額 ※千円	3,891										

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート							政策1 施策3			
政策1		スポーツ・運動を通じた生きがい・健康づくり										
施策3		地域におけるスポーツ・運動の機会の充実										
主な事業		1-3-6	身近な場所でのスポーツ・運動の充実									
		1-3-7	ニュースポーツの推進									
		1-3-8	スポーツ推進委員の活動促進									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年		
	☆	週1回以上のスポーツや運動をしている16歳以上の市民の割合	%	51.9 (令和3年度) 市民意識調査	目標	—	—	—	—	70 (国の目標値)		
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
	☆	1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している人の割合	%	[20～64歳] 男性:21.3 女性:18.1 【65歳以上】 男性:41.5 女性:34.5 (令和3年度) 市民意識調査	目標	—	—	—	【20～64歳】 男性:30% 女性:25% 【65歳以上】 男性:50% 女性:45%	【20～64歳】 男性:30% 女性:25% 【65歳以上】 男性:50% 女性:45%		
				%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
						目標						
			%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
	進捗状況		評価事項									
	■ 順調 □ 概ね順調 □ 遅れている □ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■		まい健康サポートセンターやスポーツ施設を利用した講座、まいりゅうコロコロを中心としたコミュニティセンターでのニュースポーツ体験は、天候に左右されずに行えることから好評である。今後も、スポーツ推進委員やレクリエーション協会と連携し、身近な場所で気軽に参加できる健康づくりの取組を促進していく。									

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1 施策3

事業No.	1-3-6	事業名	身近な場所でのスポーツ・運動の充実	担当課	健康増進課／スポーツ推進課	
事業内容			コミュニティセンターやまいん健康サポートセンターを拠点としたスポーツイベントや高齢者向けの体操教室などを継続的に実施し、身近な場所で気軽に参加できる健康づくりや居場所づくりに向けた取組を促進します。 また、IT等を活用してスポーツに取り組む機会の充実を図ります。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					7,948	7,927
令和6年度 計画			【健康増進課】 (1)まいん健康サポートセンターにおいて、毎月延べ40種目の単発講座や、コース型の講座を開催する。 (2)市内スポーツ施設において、休館日にトレーニング室を利用して、午前と午後に全8回の運動講座を開催する。 【スポーツ推進課】 (1)スポーツ推進委員による「まいりゅうコロコロ」体験教室を各コミュニティセンターで実施し、身近な場所で天候に左右されずに行える地域スポーツを推進する。			
令和6年度 実施内容			【健康増進課】 (1)まいん健康サポートセンターにおいて、単発講座を440回、コース型の講座(1コースあたり8回)を4回開催した。 (2)市内スポーツ施設において、トレーニング室を利用し筋力アップ等を目的とした講座を午前と午後にそれぞれ8回実施した。 【スポーツ推進課】 (1)まいりゅうコロコロ体験教室(各コミセン・総合福祉センター) 12回開催 参加者:165人 まいりゅうコロコロ地区大会(大宮・八原・北文間・馴馬台) 4地区開催 参加者:117人			
進捗状況			事業推進上の課題			
■ 順調 □ 概ね順調 □ 遅れている □ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			【健康増進課】 スポーツ施設利用の講座で終了後も引き続き運動を継続していただけるように促していく。 【スポーツ推進課】 まいりゅうコロコロは地区大会が開催され普及している地区もある一方、取り組まれていない地区もある。引き続き各コミセンと共催しながら、体験の機会を設けてもらえるよう呼びかけていく。			
令和7年度 計画			【健康増進課】 (1)まいん健康サポートセンターにおいて、毎月延べ40種目の単発講座や、コース型の講座を開催する。 (2)市内スポーツ施設において、休館日にトレーニング室を利用して、午前と午後に全8回の運動講座を開催する。 【スポーツ推進課】 スポーツ推進委員による「まいりゅうコロコロ体験教室」を各コミュニティセンターで実施し、身近な場所で天候に左右されずに行える地域スポーツを推進していく。			
予算額 ※千円	8,044					

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1 施策3

事業No.	1-3-7	事業名	ニュースポーツの推進	担当課	スポーツ推進課	
事業内容			スポーツ推進委員やレクリエーション協会と連携を図りながら、身近な場所で誰でも気軽に楽しめる市独自のニュースポーツ「まいりゅうコロコロ」を中心に、ニュースポーツの普及を図ります。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					759	672
令和6年度 計画			スポーツ推進委員やレクリエーション協会と連携して、ニュースポーツ体験教室の実施等、ニュースポーツの普及に努める。 (1)コミュニティセンター等での龍ヶ崎発のニュースポーツ「まいりゅうコロコロ」の普及 (2)まいりゅうコロコロ大会の開催 (3)まいんや学校等へのニュースポーツ体験事業の実施 (4)各種ニュースポーツ大会の開催			
令和6年度 実施内容			(1)まいりゅうコロコロ体験教室 各コミセン・総合福祉センター 合計:12回開催 参加者:165人 (2)第3回龍ヶ崎市まいりゅうコロコロ大会 11月24日(日)開催 参加者:79人 まいりゅうコロコロ地区大会(大宮・八原・北文間・馴馬台) 4地区開催 参加者合計:117人 (3)まいんニュースポーツ体験会 7月17日(水)開催 参加者:19人 / 3月10日(月)開催 参加者:24人 まつばっこ祭まいりゅうコロコロ体験 11月16日(土)開催 参加者:約130人 龍ヶ崎小学校2年生親子ふれあいまいりゅうコロコロ体験 12月13日(金)開催 参加者:90人 (4)各種ニュースポーツ大会の開催(レクリエーション協会加盟団体) 3団体(バウンドテニス・インディアカ・ソフトバレーボール)開催。参加人数合計:440人			
進捗状況			事業推進上の課題			
■ 順調 □ 概ね順調 □ 遅れている □ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			まいりゅうコロコロは、コミセンでの体験教室をきっかけに地区大会が開かれており、地域に根差したニュースポーツへと認知されてきている。引き続きコミセンとの共催を推進し、未実施地区へも働きかけていく。 ニュースポーツ体験会は開催場所を固定せず、依頼者の元へ出張する形での開催としていく。			
令和7年度 計画			スポーツ推進委員やレクリエーション協会と連携して、ニュースポーツ体験教室の実施等、ニュースポーツの普及に努める。 (1)コミュニティセンター等での龍ヶ崎発のニュースポーツ「まいりゅうコロコロ」の普及 (2)まいりゅうコロコロ大会の開催 (3)まいんや学校等へのニュースポーツ体験事業の実施 (4)各種ニュースポーツ大会の開催			
予算額 ※千円		735				

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策1 施策3

事業No.	1-3-8	事業名	スポーツ推進委員の活動促進	担当課	スポーツ推進課	
事業内容			市民の多様なスポーツニーズに対応するため、研修会への参加やニュースポーツの研究など知識や技術の習得を促進するとともに、コーディネーターとして地域におけるニュースポーツの普及など市民のスポーツ活動を支援します。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					745	424
令和6年度計画			(1) 関東スポーツ推進委員研究大会(千葉大会)へのスポーツ推進委員の派遣 (2) 県南スポーツ推進委員協議会地区別研修会へのスポーツ推進委員の派遣 (3) 県スポーツ推進委員協議会研修会へのスポーツ推進委員の派遣 (4) コミュニティセンターとの共催による「まいりゅうコロコロ」体験教室の開催 (5) 出前講座等推進委員の派遣によるニュースポーツの普及促進			
令和6年度実施内容			(1) 関東スポーツ推進委員研究大会(千葉大会) 6月7日(成田市) スポーツ推進委員6人が参加した。 (2) 県南スポーツ推進委員協議会地区別研修会 11月9日(土浦市) スポーツ推進委員7人が参加した。 (3) 県スポーツ推進委員協議会研修会 2月22日(高萩市) スポーツ推進委員5人が参加。また、当日の研修内容等を協議する研修委員会へスポーツ推進委員を1人派遣した。 (4) コミュニティセンターとの共催による「まいりゅうコロコロ」体験教室 6月～11月の間に11回開催。参加者数:147人。スポーツ推進委員延べ29人を派遣。 コミュニティセンター主催まいりゅうコロコロ大会(大宮・八原・北文間・駒馬台地区)計4回。参加者数:117人。 審判としてスポーツ推進委員を計14人派遣し、競技説明等を行った。 (5) 出前講座等推進委員の派遣によるニュースポーツの普及 ニュースポーツ体験会(まいん) 計2回。参加者数:43人。スポーツ推進委員延べ7人を派遣。 まいりゅうコロコロ体験会(総合福祉センター・まつばっこ祭・龍ヶ崎小2年親子ふれあい学習) 計3回。 参加者数:238人。スポーツ推進委員延べ14人を派遣。			
進捗状況			事業推進上の課題			
■ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			スポーツ推進委員として研鑽を積むためにも研修会への参加は求められている。現役世代のスポーツ推進委員が研修会に参加するには仕事や家庭との調整が必要であり、参加できる機会が少ないのが課題である。			
令和7年度計画			(1) 関東スポーツ推進委員研究大会(山梨大会)へのスポーツ推進委員の派遣 (2) 県南スポーツ推進委員協議会地区別研修会へのスポーツ推進委員の派遣 (3) 県スポーツ推進委員協議会研修会へのスポーツ推進委員の派遣 (4) コミュニティセンターとの共催による「まいりゅうコロコロ」体験教室の開催 (5) 出前講座等推進委員の派遣によるニュースポーツの普及促進			
予算額 ※千円	735					

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート							政策2 施策1		
政策2		競技スポーツの推進									
施策1		スポーツ団体活動の活性化									
主な事業		2-1-9	スポーツ協会活動の活性化・支援								
		2-1-10	スポーツ少年団活動の活性化・支援								
		2-1-11	総合型地域スポーツクラブの運営・活動への支援								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	スポーツクラブ等に参加している16歳以上の市民の割合	%	11.3 (令和3年度) 市民意識調査	目標 実績	—	—	—	—	13	
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	
	☆	総合型地域スポーツクラブの認知度	%	26.8 (令和3年度) 市民意識調査	目標 実績	—	—	—	—	30	
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	
					目標 実績						
			%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	進捗状況		評価事項								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒		少子化の影響からスポーツ少年団の団員数も減少傾向となり、団体競技では運営が困難となる団体もある。引き続き加盟団体の活動が継続・活性化できるよう多角的な支援をしていく必要がある。 また、総合型地域スポーツクラブはスポーツサロン北文間館を活動拠点とし、スポーツ教室等が安定して開催できるようになった。コミュニティセンターを活用したストレッチ講座も好評であり、市民の運動習慣のきつかけとなるよう、継続して事業を開催していく。									

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策2 施策1

事業No.	2-1-9	事業名	スポーツ協会活動の活性化・支援	担当課	スポーツ推進課	
事業内容			市民の生涯スポーツの推進に向けてスポーツ協会が主体的に活動を展開できるよう、スポーツ協会事業や組織体制の強化などを支援します。	予算額 ※千円	決算額 ※千円	
				—	—	
令和6年度計画			組織体制強化について、他市町村スポーツ協会へアンケートを実施する際の調査項目等を検討する。			
令和6年度実施内容			令和6年度県南地区市町村スポーツ協会連絡協議会の活動の一環で、各市町村にアンケート調査を行い、その結果をの報告と各市町村スポーツ協会の現状についての情報交換を会議で行った。			
進捗状況			事業推進上の課題			
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			部活動の地域移行(展開)の現状や課題については、ほとんどの市町村が指導者の確保が難しいとの結果であった。今後も他市町村スポーツ協会の運営形態等を確認しながら、スポーツ協会事務局機能の強化について検討していく。			
令和7年度計画			県南地区市町村スポーツ協会連絡協議会の組織体制強化について、取手市(令和7.8年度県南地区市町村スポーツ協会連絡協議会担当市)や他市町村、茨城県スポーツ協会との連絡や調整を行う。			
予算額 ※千円	—					

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策2 施策1

事業No.	2-1-10	事業名	スポーツ少年団活動の活性化・支援	担当課	スポーツ推進課	
事業内容			スポーツ少年団の団員募集や指導者育成の支援、活動拠点の確保などスポーツ少年団活動の継続・活性化に向けた取組を支援します。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					1,330	1,044
令和6年度 計画			(1)市公式ホームページやスクリレを利用したスポーツ少年団の団員募集の支援 (2)スポーツ少年団指導者功労者表彰の実施 (3)スポーツ少年団加盟団への学校施設夜間開放使用料の免除 (4)スポーツ少年団加盟団へのスポーツ施設使用料の一部減免 (5)スポーツ少年団加盟団への大会出場時バス助成金交付			
令和6年度 実施内容			(1)スクリレによるスポーツ少年団の団員募集チラシ配信 2回実施(3月下旬・4月下旬) 市公式ホームページ上での団員募集ページの掲載 (2)スポーツ少年団指導者功労者表彰式 2月2日 スポーツ少年団本部交流大会にて実施。受賞者数:15人 (3)学校施設夜間開放使用料免除 団体数:17団体 (4)スポーツ施設使用料の一部減免 大会時 団体数:10団体 大会数:14大会 練習時 団体数:2団体 (5)スポーツ少年団加盟団への大会出場時バス助成金交付 団体数:9団体			
進捗状況			事業推進上の課題			
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			少子化が進み、スポーツ少年団の団員数減少による加盟団の存続も危ぶまれている。スクリレによる団員募集チラシの配信は、配布の手間削減や印刷代の節約にはなるが、子どもの目に届きにくいという難点もある。引き続き団体の活動が継続・活性化できるよう多角的な支援をしていく必要がある。			
令和7年度 計画			(1)市公式ホームページやスクリレを利用したスポーツ少年団の団員募集の支援 (2)スポーツ少年団指導者功労者表彰の実施 (3)スポーツ少年団加盟団への学校施設夜間開放使用料の免除 (4)スポーツ少年団加盟団へのスポーツ施設使用料の一部減免 (5)スポーツ少年団加盟団への大会出場時バス助成金交付			
予算額 ※千円	1,330					

政策2 施策1

事業No.	2-1-11	事業名	総合型地域スポーツクラブの運営・活動への支援				担当課	スポーツ推進課			
事業内容			総合型地域スポーツクラブの会員募集や認知度向上を支援するとともに、幅広い年齢層が活動できるよう事業の拡大と活動拠点の確保を支援するなど、クラブの自立的運営と質的充実を促進します。					予算額 ※千円	決算額 ※千円		
								2,714	2,353		
令和6年度計画			(1)総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 (2)総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業 ニューススポーツ推進事業 ・ニューススポーツスクール 地域スポーツ推進事業 ・ストレッチ講座 アクアスロン大会等の開催 ・「スイム・ラン」または「バイク・ラン」の2種目による大会の開催運営 (3)各小中学校へのチラシの配付								
令和6年度実施内容			(1)総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の活動場所の連携協力 龍ヶ崎市陸上競技場たつのこフィールドやスポーツサロン北文間館など、活動に係る施設利用について連携協力し、活動の充実を図った。 (2)総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業 ニューススポーツ推進事業 ・ニューススポーツスクール 20回 延べ401人 地域スポーツ推進事業 ・ストレッチ講座 72回 延べ984人 アクアスロン大会等の開催 ・キッズデュアスロンフェスティバル(バイク・ラン) 11月24日(日)開催 35人 (3)各小中学校へのチラシの配付								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値		種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
		☆	総合型地域スポーツクラブの認知度	%	26.8 (令和3年度) 市民意識調査	目標	—	—	—	—	30
				%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			スポーツサロン北文間館を活動拠点とすることで、スポーツ教室等の開催が容易となった。地域スポーツ推進事業として人気の高いストレッチ講座を充実させ、市民に身近なコミュニティセンター等を拠点とすることで、市民の健康増進や高齢者の介護予防など運動習慣のきっかけを作っていく。								
令和7年度計画			(1)総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 (2)総合型地域スポーツクラブ(NPO法人クラブ・ドラゴンズ)の交付金事業 ニューススポーツ推進事業 ・ニューススポーツスクール 地域スポーツ推進事業 ・ストレッチ講座 たつのこスポーツフェスティバルの開催 (3)各小中学校へのチラシの配付								
予算額 ※千円	1,660										

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート							政策2 施策2			
政策2		競技スポーツの推進										
施策2		スポーツ指導者やアスリートの育成										
主な事業		2-2-12	スポーツ指導者の養成・資質向上とアスリートの競技力向上									
		2-2-13	国際・全国大会の出場者に対する支援・応援									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年		
	☆	スポーツ指導者向け講習会の参加者数 【スポーツ推進課】	人	46 (令和4年度)	目標 実績	60 28	60 33	60	60	60		
			%	—	達成度	47	55	0	0	0		
	☆	市民参加型スポーツ技術講習会等の参加者数 【スポーツ推進課】	人	526 (令和元年度)	目標 実績	530 397	535 39	540	545	550		
			%	—	達成度	75	7	0	0	0		
	☆	全国大会以上のスポーツ大会出場件数(大学生は国際大会以上) 【スポーツ推進課】	件	51 (令和元年度)	目標 実績	54 119	57 107	60	62	64		
			%	—	達成度	220	188	0	0	0		
	進捗状況		評価事項									
	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■		指導者の資質向上のためのスポーツ指導者講習会は、参加者からの評価は高いが参加人数に伸び悩みがある。講習会の内容や講師の調整、募集方法など新たな手法を検討し、引き続き開催していく。スポーツ大会出場激励金の交付や全国大会出場者への表彰は競技者の意欲向上に役立っており、市民のふるさと意識の醸成にも貢献している。今後も指導者やアスリートの育成に努めていく。									

政策2 施策2

事業No.	2-2-12	事業名	スポーツ指導者の養成・資質向上とアスリートの競技力向上				担当課	スポーツ推進課			
事業内容			優秀な指導者等を講師とした指導者やアスリートへの講習会等を開催し、参加者の増加に努めることで、指導者の養成・資質向上及びアスリートの競技力向上を図ります。					予算額 ※千円	決算額 ※千円		
								550→650	596		
令和6年度計画			(1)スポーツ指導者講習会の開催 (2)技術講習会の開催 (3)各スポーツ競技の普及・振興に尽力されている功労者への表彰								
令和6年度実施内容			(1)スポーツ指導者講習会 8月31日開催 参加者数:33人 (2)技術講習会 ・バスケットボール部「バスケットボール技術講習会」 12月1日開催 参加者数:39人 (3)各スポーツ競技の普及・振興に尽力されている功労者に対し表彰を行う ・市スポーツ協会功労者表彰 被表彰者:功労者(2名)								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値		種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
		☆	スポーツ指導者向け講習会の参加者数 【スポーツ推進課】	人	46 (令和4年度)	目標	60	60	60	60	60
						実績	28	33			
		☆	市民参加型スポーツ技術講習会等の参加者数 【スポーツ推進課】	人	526 (令和元年度)	目標	530	535	540	545	550
						実績	397	39			
				%	—	達成度	47	55	0	0	0
		%	—	達成度	75	7	0	0	0		
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			スポーツ指導者講習会については、参加者が低調だったことから、講習会の内容や周知方法、講師の調整を検討していく。技術講習会については、競技団体に要請し、講習会を実施する競技の増加に務め、参加者数の増加を図っていく。また、スポーツ競技の普及に尽力されている方への表彰については、引き続き行っていく。								
令和7年度計画			(1)スポーツ指導者講習会の開催 (2)スーパージュニアアスリート育成講習会の開催 (3)技術講習会の開催 (4)各スポーツ競技の普及・振興に尽力されている功労者に対して表彰								
予算額 ※千円	1,650										

政策2 施策2

事業No.	2-2-13	事業名	国際・全国大会の出場者に対する支援・応援				担当課	スポーツ推進課			
事業内容			国際大会や全国大会に出場する個人や団体などを支援・応援することで、トップアスリートの活躍を促進するとともに、市民のふるさと意識の醸成につなげます。					予算額 ※千円	決算額 ※千円		
								2,100→2,400 (流充用の為)	2,276		
令和6年度 計画			(1)スポーツ大会出場激励金の交付 国際大会や全国大会に出場する個人や団体に対し、激励金を交付することでトップアスリートの活動を金銭面から支援する。また、全国大会等へ出場する選手の報告や結果を広報紙「りゅうほう」へ掲載し、選手の応援及び市民のふるさと意識の醸成を図る。 (2)全国大会等出場者への表彰 市スポーツ協会の自主事業として全国大会等へ出場した小学生から成人までを対象とした表彰を行う。								
令和6年度 実施内容			(1)スポーツ大会出場激励金の交付 国際大会や全国大会に出場する個人や団体に対し、激励金の交付を行うとともに、出場する選手について広報紙「りゅうほう」や市公式ホームページへ掲載した。 交付件数:107件 (2)全国大会等出場者への表彰 ・市スポーツ協会 表彰の実施(全国大会等へ出場した選手や団体など) 被表彰者:優秀賞(団体:7団体、個人:111)								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	全国大会以上のスポーツ大会出場 件数(大学生は国際大会以上) 【スポーツ推進課】	件	51 (令和元年度)	目標	54	57	60	62	64	
			%	—	実績	119	107				
					達成度	220	188	0	0	0	
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			全国大会等出場者への表彰については、表彰期間が年度を遡るため、過去の資料と学校との連携を密に行い、漏れのないよう情報収集を行っていく。								
令和7年度 計画			(1)スポーツ大会出場激励金の交付 国際大会や全国大会に出場する個人や団体に対し、激励金を交付することでトップアスリートの活動を金銭面から支援する。また、全国大会等へ出場する選手の報告や結果を広報紙「りゅうほう」や市公式ホームページへ掲載し、選手の応援及び市民のふるさと意識の醸成を図る。 (2)全国大会等出場者への表彰 市スポーツ協会の自主事業として全国大会等へ出場した小学生から成人までを対象とした表彰を行う。								
予算額 ※千円	2,500										

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート							政策2 施策3		
政策2		競技スポーツの推進									
施策3		流通経済大学との連携									
主な事業		2-3-14	流通経済大学運動部の活動支援								
		2-3-15	流通経済大学の人材・ノウハウを生かした連携								
		2-3-16	流通経済大学運動部との交流・応援促進								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	総合運動公園のスポーツ施設における流通経済大学運動部公式戦の開催数 【スポーツ推進課】	試合数	37 (令和元年度)	目標	40	40	40	40	40	
					実績	33	39				
					%	—	達成度	83	98	0	0
					目標						
					実績						
					%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
					目標						
					実績						
					%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
進捗状況		評価事項									
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒		流通経済大学運動部の活動支援として、フィールド・スタジアムを陸上部・サッカー部・野球部等に優先的に貸出し、総合運動公園での公式戦が39回開催された。 また、運動部応援バスツアーは、ラグビー部がリーグ戦で敗退してしまったため未実施となったが、応援支援として龍ヶ崎市内開催の公式戦を中心に、試合の情報を市公式SNS等で周知したほか、運動部が開催するイベント等への支援も行った。小中学校においては、大学生による実技指導や体育行事のサポートなど流通経済大学との連携が図られている。									

政策2 施策3

事業No.	2-3-14	事業名	流通経済大学運動部の活動支援				担当課	スポーツ推進課／まちの魅力創造課			
事業内容			市内での公式戦の開催や練習場所の確保などについて大学運動部と調整を図り、市の運動施設の貸出しや公式戦の情報発信など、各運動部の活動を支援します。					予算額 ※千円	決算額 ※千円		
								11→231	242		
令和6年度 計画			【スポーツ推進課】 (1)流通経済大学運動部公式戦に対し市の運動施設を優先貸出 (2)流通経済大学運動部の練習活動に市の運動施設を優先貸出 【まちの魅力創造課】 (1)龍ヶ崎市内開催の公式戦を中心に、試合の情報を市公式SNS等で周知 (2)運動部が開催するイベント等への支援								
令和6年度 実施内容			【スポーツ推進課】 総合運動公園における流通経済大学運動部の優先貸出による公式戦は、以下のとおり開催された。 サッカー：関東大学サッカーリーグ戦・・・6試合 サッカー：関東大学サッカーリーグ戦・・・6試合 フットサル：日本女子フットサルリーグ・・・2試合 ラグビー：関東大学ラグビーリーグ戦・・・1試合 硬式野球：東京新大学野球連盟春季・春季リーグ戦・・・5試合 東京新大学野球連盟春季・秋季リーグ戦・・・5試合 陸上競技：流通経済大学陸上競技会・・・14大会 【まちの魅力創造課】 (1)龍ヶ崎市内開催の公式戦を中心に、試合の情報を市公式SNS等で周知 Instagramや市役所本庁舎1階掲示板などを活用し、流通経済大学運動部の公式戦開催情報などを周知した。特に、本市総合運動公園施設で9月28日から10月19日までの期間内に開催された、サッカー部、ラグビー部、硬式野球部の6試合については、応援強化期間として大きく取り上げた。 (2)運動部が開催するイベント等への支援 剣道部による「つくばね旗剣道大会」開催時に、市役所駐車場を臨時駐車場として貸し出した。また、硬式野球部が未就学児を対象に企画したイベントにおいて、周知等側面的な支援を行った。								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値		種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
		☆	総合運動公園のスポーツ施設における流通経済大学運動部公式戦の開催数	試合数	37 (令和元年度)	目標	40	40	40	40	40
				%	—	実績	33	39			
			【スポーツ推進課】			達成度	83	98	0	0	0
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			【スポーツ推進課】 大学の認知度向上や市民の愛着向上など大学及び市の双方にとってメリットが期待できる事業であることから、今後も継続して事業を進めていくとともに、スポーツ施設も優先的に貸出しを行います。 【まちの魅力創造課】 龍・流連携Instagramの本格運用を開始し、学生に向けた運動部の活躍や学割サービスなどの情報発信力を強化した。今後、市民等にも興味を持っていただけるような情報提供も行い、登録者数を増やしてPR効果を高めていく必要がある。								
令和7年度 計画			【スポーツ推進課】 (1)流通経済大学運動部公式戦に対し市の運動施設を優先貸出 (2)流通経済大学運動部の練習活動に市の運動施設を優先貸出 【まちの魅力創造課】 (1)龍ヶ崎市内開催の公式戦を中心に、試合の情報を市公式SNS等で周知 (2)運動部が開催するイベントへの支援								
予算額 ※千円	264										

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策2 施策3

事業No.	2-3-15	事業名	流通経済大学の人材・ノウハウを生かした連携	担当課	スポーツ推進課／指導課	
事業内容			スポーツイベントの運営に係る協力や児童生徒の体育授業等のサポートなど、大学の 人材・ノウハウを生かし、連携した取組を促進します。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					—	—
令和6年度 計画			【スポーツ推進課】 (1)流通経済大学の大学生の協力を得て、スポーツ・レクリエーションまつりやイースタン・リーグ公式戦の開催を促進する。 【指導課】 龍・流連携事業に基づき、流通経済大学の大学生の協力を得て、以下の取組を促進する。 (1)小学校の体育の授業において、タグラグビーや器械運動など各種運動種目において、専門性を有する大学生による実技指導の機会を設ける。 (2)中学校の体育の授業や部活動、救命救急講習会など、専門性を有する大学生による実技指導の機会を設ける。 (3)小中学校の体育的行事において、大学生によるサポートの機会を設ける。			
令和6年度 実施内容			【スポーツ推進課】 流通経済大学と連携した当市スポーツイベントの開催 ・市民スポーツ・レクリエーションまつり 10月12日(土)開催 学生協力者:18人 ・プロ野球イースタン・リーグ公式戦 9月8日(日)開催 学生協力者:59人 ・龍ヶ崎リレーマラソン大会 3月1日(土)開催 学生協力者:52人 ・AKIYO'S DREAM with RYUGSAKI(ユースクライミング大会) 3月15、16日開催 学生協力者:延べ60人 【指導課】 龍・流連携事業に基づき、流通経済大学の大学生の協力を得て、以下の取組を実施した。 (1)小学校の体育の授業において、タグラグビー、マット・跳び箱運動、持久走などの運動種目での実技指導。 (2)中学校の体育の授業において救命講習会での実技指導、総合体育大会での審判員の協力。 (3)小学校9校、中学校5校で体育的行事において審判や準備の補助員として協力。			
進捗状況			事業推進上の課題			
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			【スポーツ推進課】 今後も継続して、流通経済大学とも連携しながら、地域の特色を活かした様々なスポーツイベントの実施を検討していく。 【指導課】 全ての小中学校の授業や体育的行事で流通経済大学の支援を得ている。大学生の献身的な行動に学校側からの感謝の声も多いのが現状である。準備や後片付け、係活動での児童生徒の負担も軽減され、体育的行事に集中して取り組むことができた。今後も流通経済大学生だけでなく、地域人材を生かしながら多様なスポーツを体験する機会を設け、児童生徒のスポーツ活動を支援していく必要がある。			
令和7年度 計画			【スポーツ推進課】 流通経済大学の大学生の協力を得て、市民スポーツ・レクリエーションまつりや龍ヶ崎リレーマラソン大会の開催を促進する。 【指導課】 龍・流連携事業に基づき、流通経済大学の大学生の協力を得て、以下の取組を促進する。 (1)小学校の体育の授業において、タグラグビーや器械運動、持久走、ボール運動など各種運動種目において、専門性を有する大学生による実技指導の機会を設ける。 (2)中学校の体育の授業や部活動、救命救急講習会など、専門性を有する大学生による実技指導の機会を設ける。 (3)小中学校の体育的行事において、大学生によるサポートの機会を設ける。			
予算額 ※千円	—					

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策2 施策3

事業No.	2-3-16	事業名	流通経済大学運動部との交流・応援促進	担当課	まちの魅力創造課	
事業内容			市民への流通経済大学運動部の公式戦等の情報提供や市民に関心が高い試合の応援ツアーを開催するなど市民参加の交流を促進し、運動部の応援・サポートに向けた機運の醸成を図ります。また、龍・流連携事業によるスポーツイベント等の開催を支援し、地域のにぎわいの創出を図ります。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					11→309	242
令和6年度計画			(1)龍ヶ崎市内開催の公式戦を中心に、試合の情報を市公式SNS等で周知。 (2)運動部応援バスツアーの実施。			
令和6年度実施内容			(1)龍ヶ崎市内開催の公式戦を中心に、試合の情報を市公式SNS等で周知 Instagramにおいて、流通経済大学運動部の公式戦開催情報を周知した。特に、本市総合運動公園施設で9月28日から10月19日までの期間内に開催された、サッカー部、ラグビー部、硬式野球部の6試合については、応援強化月間として大きく取り上げた。 (2)運動部応援バスツアーの実施 本年度は、ラグビー部が全国大学ラグビーフットボール選手権大会に出場した際に実施する予定であったが、リーグ戦で敗退してしまったため未実施となった。			
進捗状況			事業推進上の課題			
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			龍・流連携Instagramの本格運用を開始し、学生に向けた運動部の活躍や学割サービスなどの情報発信力を強化した。今後、市民等にも興味を持っていただけのような情報提供も行い、登録者数を増やしてPR効果を高めていく必要がある。なお、運動部応援バスツアーについては、継続開催が望まれるなど参加者満足度も高い事業であるため、今後も全国大会出場時などの基準を設けつつ、より多くの市民が学生との交流機会を得られるような開催方法を検討する。			
令和7年度計画			(1)龍ヶ崎市内開催の公式戦を中心に、試合の情報を市公式SNS等で周知する。 (2)運動部応援バスツアーを実施する。			
予算額 ※千円		364				

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート							政策3 施策1		
政策3		スポーツによるにぎわいづくり									
施策1		本市にゆかりのあるスポーツ選手等との連携による魅力発信									
主な事業		3-1-17	スポーツイベント等におけるオリンピック・トップアスリートとの交流・連携								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	トップアスリート等と連携したイベント数 【スポーツ推進課】	件	—	目標	2	2	2	2	2	
				実績	1	1					
			%	—	達成度	50	50	0	0	0	
					目標						
				実績							
			%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
					目標						
				実績							
			%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
進捗状況		評価事項									
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■		スポーツクライミングの第一人者であり、本市のふるさと大使でもある野口啓代氏との共催により、「AKIYO's DREAM with RYUGASAKI」を開催し、全国各地、海外から多くの将来を担うトップクライマーが集結。高いレベルで大会が行われるとともに、キッチンカーや物産品を販売することで、本市の魅力を発信した。また、野口氏をはじめ、参加者がSNS等で情報発信をすることにより、本市の認知度向上にも効果が見込まれる大会となった。一方で、市内の競技者及び観覧者は物足りない状況であり、今後の課題となった。									

政策3 施策1

事業No.	3-1-17	事業名	スポーツイベント等におけるオリンピック・トップアスリートとの交流・連携			担当課	スポーツ推進課／秘書広聴課				
事業内容			本市にゆかりのあるスポーツ選手やトップアスリート等と連携した取組を推進します。 トップアスリートと触れ合い、スポーツへの関心を高め、ふるさと意識の醸成やまちのにぎわい創出につなげます。				予算額 ※千円	決算額 ※千円			
							2,422→21,118 (補正の為)	21,084			
令和6年度 計画			【スポーツ推進課】 (1) スポーツクライミングの第一人者である、野口啓代氏と檜崎智亜氏と連携し、「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」推進事業に着手する。 ・基本構想の策定 ・キックオフイベントの開催 ・オリンピックパリ大会の壮行会・パブリックビューイングの開催 【秘書広聴課】 (1) 檜崎智亜氏などオリンピック出場選手への龍ヶ崎ふるさと大使就任依頼及び応援イベントの開催。								
令和6年度 実施内容			【スポーツ推進課】 ・スポーツクライミングのまち龍ヶ崎基本構想策定審議会での審議や関係団体等のワークショップ等を経て、スポーツクライミングのまち龍ヶ崎の実現に向けた基本構想を策定。 ・スポーツクライミングのまち龍ヶ崎のキックオフイベントとして、野口啓代氏と共催で、スポーツクライミングユース大会「AKIYO's DREAM with RYUGASAKI」を開催し、全国から237名がエントリー（欠席15名）。来場者数の延べ人数は、選手、関係者等を含め1,000人を超え、さらに、マスコミの報道や大会関係者・参加者のSNSにより、龍ヶ崎市を全国に発信。 ・檜崎智亜選手を応援するため、令和6年8月9日に「パリ2024オリンピックパブリックビューイング」の開催を予定していたが準決勝敗退に伴い中止となった。 【秘書広聴課】 (1) 広報龍ヶ崎『りゅうほー』9月前半号でのオリンピック特集の掲載 (2) 檜崎智亜選手の龍ヶ崎ふるさと大使委嘱 ・7月4日に龍ヶ崎ふるさと大使任命式にあわせて、パリ2024オリンピック壮行会を開催。 ・市民向けの応援イベントとして、ニューライフアリーナ龍ヶ崎にメッセージボードを設置し、約600枚のメッセージが寄せられ、本人に手渡した。メッセージボードは報道各社の取材があった (3) 斉藤真理菜選手の龍ヶ崎ふるさと大使委嘱 ・パリ2024オリンピック出場にあわせ、母校（龍ヶ崎小・龍ヶ崎中）からのメッセージ贈呈を企画立案し実施した。 ・11月6日に龍ヶ崎ふるさと大使任命式を同選手の母校・龍ヶ崎小で開催。同小および龍ヶ崎中での講演会を実施し、小中学生との交流を行った。当日は報道各社の取材があった。 (4) 野口啓代氏（龍ヶ崎ふるさと大使）のフォレストアドベンチャー龍ヶ崎・プレオープンイベント実施 ・クライミング施設「クリフチャレンジャー」のオープンにあわせ、市民参加型の体験イベントを開催し、野口氏との交流を行った。申込開始後、10分で定員30人が満員となり、当日は報道各社の取材があった。								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値		種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
		☆	トップアスリート等と連携したイベント数 【スポーツ推進課】	件	—	目標	2	2	2	2	2
				%	—	実績	1	2			
						達成度	50	100	0	0	0
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			【スポーツ推進課】 ・スポーツクライミングのまち龍ヶ崎の実現に向け、基本構想に沿った取組によりスポーツクライミングの普及を図るとともに、より多くの市民等や関係団体、民間企業等との連携を強化することが重要である。 ・スポーツクライミングのまち龍ヶ崎を持続可能な事業とするため、事業推進主体の構築や資金調達手法の検討。 【秘書広聴課】 現役選手が多いため、シーズン中の活用などに制限があるものの、龍ヶ崎ふるさと大使に委嘱しているトップアスリートとの交流事業は順調に実施されている。								
令和7年度 計画			【スポーツ推進課】 (1) スポーツクライミングのまち龍ヶ崎の推進 ・スポーツクライミングのまち龍ヶ崎の実現に向け、基本構想に沿った取組を展開 ・スポーツクライミングボルダージャパンカップ又は同等規模の大会開催 (2) オリンピアンとの連携の強化 ・オリンピアンやトップアスリートと連携したイベントの開催 【秘書広聴課】 龍ヶ崎ふるさと大使に委嘱したトップアスリートを活用した交流事業を今年度も実施予定								
予算額 ※千円	40,816										

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート							政策3 施策2	
政策3		スポーツによるにぎわいづくり								
施策2		競技スポーツ公式戦開催等による交流の促進								
主な事業		3-2-18	市内外から多くの人が参加できるスポーツ大会等の開催							
		3-2-19	競技スポーツ大会の開催促進							
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
	☆	市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがある16歳以上の市民の割合	%	31.1 (令和3年度) 市民意識調査	目標	—	—	—	—	36
				実績	—	—	—	—		
	☆	総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数 (利用者数+観覧者数) 【スポーツ推進課】	人	348,003 (令和元年度)	目標	350,000	355,000	360,000	370,000	374,000
				実績	313,602	306,334				
					達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0
				—	達成度	90	86	0	0	0
					目標					
実績										
			%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
進捗状況		評価事項								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒		総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数は、目標値に達していないが、例年にならって横ばいの数値となっている。令和6年度末よりスコアボードがフル画面LEDに改修され、スタジアムの利用率も更なる向上を目指していく。龍ヶ崎リレーマラソン大会も第2回大会を開催し、前年度大会から240人もの参加人数が増え、参加者アンケートの結果、親子やチームの絆の醸成に一役買っていることが読み取れた。またリレーマラソン大会をきっかけに運動が習慣化したなどの回答もあり健康維持・増進に寄与した大会となった。トップレベルのスポーツ大会等については、プロ野球BCリーグ公式戦、プロ野球イースタンリーグ公式戦が開催され、多くの市民に野球観戦の機会を提供することができた。								

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策3 施策2

事業No.	3-2-18	事業名	市内外から多くの人が参加できるスポーツ大会等の開催	担当課	スポーツ推進課	
事業内容			関係機関・団体と協議・連携を図りながら市内外から多くの人が参加できるスポーツ大会の開催を目指します。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					4,054	2,595
令和6年度 計画			リレーマラソン大会開催に向けて計画的に準備作業を進める。 (1)事業実施計画(案)をスポーツ協会に提出(6月18日)→行程表作成(6月末) (2)交通規制・公園利用の調整を実施(7月末)、周知看板の設置(2月上旬頃) (3)売店等出店者の調整(10月～1月) (4)運営業務委託契約の締結(8月中旬頃) (5)参加者募集(10月上旬頃～1月中旬頃まで) (6)大会開催(3月2日予定)			
令和6年度 実施内容			計画的に準備作業を行い、3月1日にリレーマラソン大会を開催することができた。 (1)行程表作成(5月末) (2)運営業務委託契約を締結(10月8日)、随時業者と協議しながら準備作業を行った。 (3)交通規制・公園利用の調整を実施(1月上旬)、売店等出店者の調整(10月～1月) *4店舗出店 (4)大会従事者数を必要最低限で設計を行い、スポーツ団体等のボランティアの協力を得た(96名)。 (5)あらゆる手段での情報発信、企業廻りを行い参加者募集を行った。(10月8日～2月11日頃まで) *参加申込者合計754人 *親子ラン68組、ジュニアラン153人、リレーマラソンの部76組、招待チーム7組			
進捗状況			事業推進上の課題			
■ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			第2回大会については、親子ラン(1～2年生)、ジュニアラン(3～6年生までの個人種目)、リレーマラソンの部(中学生以上)で開催し、第1回大会に比べて、参加者数は240人も増加した。第3回大会は運営主体を市に戻し、スポーツ少年団が参加しやすい仕組み作り、未就学児の種目の考案、プロスポーツ連携を活かした賑わいづくりを図り、関係人口・交流人口の創出に努めていく。「走る」ことに対しての裾野を広げられる取組を検討していく。			
令和7年度 計画			リレーマラソン大会開催に向けて計画的に準備作業を進める。 (1)行程表作成(5月末) (2)プロスポーツ連携を活かした参加賞の考案(6月末～10月) (2)交通規制・公園利用の調整を実施(7月末)、周知看板の設置(2月上旬頃) (3)売店等出店者の調整(10月～1月) (4)運営業務委託契約の締結(10月下旬頃) (5)参加者募集(10月上旬頃～1月中旬頃まで) (6)大会開催(2月28日)			
予算額 ※千円	6,034					

政策3 施策2

事業No.	3-2-19	事業名	競技スポーツ大会の開催促進			担当課	スポーツ推進課				
事業内容			市民がトップレベルのスポーツを見て楽しむとともに、スポーツへの関心を高められるような大会の開催を促進します。					予算額 ※千円	決算額 ※千円		
								—	—		
令和6年度 計画			(1)総合運動公園における流通経済大学運動部の公式戦開催 関東大学サッカーリーグ戦、関東大学ラグビーリーグ戦、東京新大学野球連盟リーグ戦、大学野球スプリングフレッシュリーグ等、公式戦の招致に努める。 (2)トップレベルのスポーツ大会等の招致に努める。 茨城県民球団・茨城アストロプラネッツのBCリーグ公式戦 プロ野球日本ハムファイターズのイースタンリーグ公式戦								
令和6年度 実施内容			(1)総合運動公園における流通経済大学運動部の公式戦開催 関東大学サッカーリーグ戦(4試合)、関東大学ラグビーリーグ戦(1試合)、東京新大学野球連盟リーグ戦(5試合)、大学野球スプリングフレッシュリーグ(1試合) (2)トップレベルのスポーツ大会等の開催 ①茨城アストロプラネッツによるBCリーグ公式戦：5月25日、8月2日(ナイター照明故障のため試合会場変更) →5月25日は、龍ヶ崎市DAYとして龍ヶ崎市在住、在勤、在学の方を対象に無料で招待し、581人が来場した。 ②プロ野球イースタン・リーグ茨城シリーズ(龍ヶ崎市・牛久市)を開催(龍ヶ崎市は9月8日開催) ＊観客数：1,979人								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがある16歳以上の市民の割合	%	31.1 (令和3年度) 市民意識調査	目標	—	—	—	—	36	
			%	—	実績	—	—	—	—	0	
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			これまで流通経済大学運動部による公式戦開催や、高校野球県南予選大会、プロスポーツ(BCリーグ公式戦、プロ野球イースタン・リーグ)、大学野球スプリングフレッシュリーグ戦を開催してきたが、スポーツによる地方創生産学官連携プラットフォームにおける取り組みの一環として実施してきたプロ野球イースタン・リーグ茨城シリーズについては、取組の見直しを行うため来年度は開催しないことが決まったため、今後においては社会人野球等も視野に入れて、各団体に対して活発に招致活動を行っていき、TOKIWAスタジアム龍ヶ崎で開催してもらうよう働きかけていく。								
令和7年度 計画			(1)総合運動公園における流通経済大学運動部の公式戦開催 関東大学サッカーリーグ戦、関東大学ラグビーリーグ戦、東京新大学野球連盟リーグ戦、大学野球スプリングフレッシュリーグ等、公式戦の招致に努める。 (2)トップレベルのスポーツ大会等の招致に努める。 茨城アストロプラネッツのBCリーグ公式戦、社会人野球の公式戦等								
予算額 ※千円	—										

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート						政策3 施策3				
政策3		スポーツによるにぎわいづくり										
施策3		スポーツを基軸とした産学官の連携										
主な事業		3-3-20	スポーツツーリズムの推進									
		3-3-21	プロスポーツ等を活用した交流人口の増加									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年		
	☆	主なスポーツ観戦の方法として、直接観戦している16歳以上の市民の割合	%	29 (令和3年度) 市民意識調査	目標 実績	—	—	—	—	32		
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0		
					目標 実績							
			%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
					目標 実績							
			%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
	進捗状況		評価事項									
	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■		プロ野球イースタン・リーグやプロ野球BCリーグの開催により、多くの来場者が龍ヶ崎市を訪れ、交流人口・関係人口の増加が図れた。特に、プロ野球イースタン・リーグについては、関係人口の取組として場を活用して様々な人たちを巻き込んで場外イベントを開催し、前年度よりも大幅に来場者を増加することができた。 今後においては、さらなるプロスポーツ(茨城ロボッツ・鹿島アントラーズ)と連携を図り、市民デー等を開催し、トップレベルのスポーツを見る機会の充実とにぎわいづくりの充実を促進していく。									

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策3 施策3

事業No.	3-3-20	事業名	スポーツツーリズムの推進	担当課	スポーツ推進課	
事業内容			スポーツの参加や観戦を目的として本市を訪れたり、地域資源とスポーツを掛け合わせてイベント等を開催し、スポーツツーリズムの推進を図ります。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					2,105→2,122 (流充用の為)	2,117
令和6年度 計画			(1)スポーツによる地方創生産学官連携プラットフォーム事業の実施 令和6年度事業計画に基づき、各事業実施に向けて、計画的に進めていく。 ・プロ野球イースタン・リーグ茨城シリーズ(龍ヶ崎市:9月8日、牛久市:9月7日)に合わせて肘検診の開催 ・産学官連携でのスポーツによる自己実現支援事業(投げる大作戦)の実施 ・産学官連携事業に関する思考力を養うため、自治体職員の育成を目的とした研修会の開催			
令和6年度 実施内容			(1)スポーツによる地方創生産学官連携プラットフォーム事業の実施 令和6年度事業計画に基づき、各事業については、以下のとおり計画的に実施した。 ①プロ野球イースタン・リーグ茨城シリーズ牛久開催(9月7日)に合わせて肘検診を実施した。その他、両市ともイースタンリーグの場を活用し、場外イベントとして関係人口の創出に向けた様々な取組を実施した。 ②産学官連携によるスポーツによる自己実現支援事業放課後PLAYパーク投げる大作戦(6月～9月)を行い、プロ野球イースタン・リーグ茨城を活用して成果発表会(始球式・終球式)を実施した。 ③産学官連携事業に関する思考力を養うため、自治体職員の育成を目的とした研修会(岩手県紫波町、長野県野沢温泉村・北海道北広島市)を開催した。			
進捗状況			事業推進上の課題			
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			スポーツによる地方創生産学官連携プラットフォームにおける取り組みの一環として実施してきたプロ野球イースタン・リーグ茨城シリーズについては、取組の見直しを行うため来年度は開催しないことが決まったため、新たな取組について関係団体と協議の上、検討していく。			
令和7年度 計画			(1)スポーツによる地方創生産学官連携プラットフォーム事業の実施 令和7年度事業計画に基づき、各事業実施に向けて、計画的に進めていく。 ①産学官連携によるスポーツによる自己実現支援事業(投げる大作戦)の実施 ②産学官連携事業に関する思考力を養うため、自治体職員の育成を目的とした研修会の開催			
予算額 ※千円		1,895				

第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート

政策3 施策3

事業No.	3-3-21	事業名	プロスポーツ等を活用した交流人口の増加	担当課	スポーツ推進課	
事業内容			大学やプロスポーツ等、産学官との一層の連携・協力により、スポーツツーリズムの推進と交流人口の増加を目指します。		予算額 ※千円	決算額 ※千円
					1,599	1,510
令和6年度計画			(1)産学官連携によるスポーツイベントの開催(北海道×茨城県プロジェクト) ・9/8プロ野球イースタン・リーグ茨城シリーズ公式戦(龍ヶ崎市・牛久市)の開催 ・場外イベント／賑わいや関係人口の創出に向けた取組を実施 (2)プロスポーツ連携事業(市民デーの開催等) ・茨城アストロプラネッツBCリーグ公式戦の開催(5/25市民デー、8/2ナイター) ・茨城ロボッツ公式戦における市民デーの開催(R6.10～R7.3の間に実施) ・鹿島アントラーズとの協定締結(5/19)・市民デーの開催(10月頃)			
令和6年度実施内容			(1)産学官連携によるスポーツイベントの開催(北海道×茨城県プロジェクト) ・プロ野球イースタン・リーグ公式戦茨城シリーズ(9月8日)を招致し開催した。＊観客動員数1,979人 ・場外イベント／賑わいや関係人口の創出に向けた取組として、放課後PLAYパーク「投げる大作戦」の成果発表会(始球式、終球式)の開催や場外イベントとして子どもたちのけが防止のためのスポーツ肘検診を実施、アトラクション(ストラックアウト・スピードガン・ティーバッティング)の実施、試合後のグラウンド開放、企業PRブース(企業分として購入した野球観戦チケットを企業PRブースに来てくれた来場者に無料配布する仕組みづくりを構築し実施。 (2)プロスポーツ連携事業(市民デーの開催等) ・茨城アストロプラネッツBCリーグ公式戦を開催 5/25市民デー：観客動員数581人、8/2(落雷によるナイター照明故障のため試合会場変更)を開催した。 ・12/14茨城ロボッツ公式戦における市民デーを開催し、市のPRブースを出店した。＊観客動員数4,018人 ・5/19鹿島アントラーズと協定の締結式を行い、10/19市民デーを開催。＊観客動員数18,939人			
進捗状況			事業推進上の課題			
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に■			スポーツによる地方創生産学官連携プラットフォームにおける取り組みの一環として実施してきたプロ野球イースタン・リーグ茨城シリーズについては、取組の見直しを行うため来年度は開催しないことが決まった。 今後においては、さらなるプロスポーツ(茨城アストロプラネッツ・茨城ロボッツ・鹿島アントラーズ)と連携を図り、市民デー等を開催し、トップレベルのスポーツを見る機会の充実とにぎわいづくりの充実を促進していく。			
令和7年度計画			(1)プロスポーツ連携事業(市民デーの開催等) ①茨城アストロプラネッツBCリーグ公式戦の開催(7/21市民デー) ②茨城ロボッツ公式戦における市民デーの開催(12月頃) ③鹿島アントラーズ公式戦における市民デーの開催(7/20)			
予算額 ※千円	1,843					

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート							政策4 施策1		
政策4		スポーツ環境の充実									
施策1		スポーツ施設の充実・有効活用									
主な事業		4-1-22	スポーツ施設の機能・整備の充実								
		4-1-23	利用しやすい施設運営とサービスの充実								
		4-1-24	学校体育施設の開放事業の促進								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	たつのこアリーナ(メインアリーナ)、たつのこフィールド、たつのこスタジアムの稼働率 【スポーツ推進課】	%	アリーナ 86 フィールド58 スタジアム33 (令和元年度)	目標	アリーナ 81 フィールド60 スタジアム35	アリーナ 83 フィールド62 スタジアム37	アリーナ 85 フィールド63 スタジアム39	アリーナ 86 フィールド63 スタジアム40	アリーナ 86 フィールド63 スタジアム40	
					実績	アリーナ 81 フィールド70 スタジアム33	アリーナ 77 フィールド70 スタジアム35				
			%	—	達成度	アリーナ 100 フィールド117 スタジアム94	アリーナ 93 フィールド115 スタジアム95	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	☆	総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数 (利用者数+観覧者数) 【スポーツ推進課】	人	348,003 (令和元年度)	目標	350,000	355,000	360,000	370,000	374,000	
					実績	313,602	305,970				
			%	—	達成度	90	86	0	0	0	
	☆	たつのこアリーナ利用者(個人)、たつのこフィールド・スタジアム・屋外施設利用者の満足度 【スポーツ推進課】	%	アリーナ79.8 屋外施設81.1 (令和元年度)	目標	アリーナ78 屋外施設79	アリーナ78 屋外施設80	アリーナ79 屋外施設81	アリーナ80 屋外施設82	アリーナ80 屋外施設82	
					実績	アリーナ87.0 屋外施設87.1	アリーナ82.0 屋外施設85.3				
			%	—	達成度	アリーナ112 屋外施設111	アリーナ105 屋外施設107	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	☆	学校体育施設の夜間貸出割合 【スポーツ推進課】	%	91 (令和元年度)	目標	85	88	90	91	91	
					実績	90					
	%	—	達成度	106	0	0	0	0			
	進捗状況		評価事項								
	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒		総合運動公園及び市のスポーツ施設については、プールボイラー更新やスタジアムグラスライン改修など計画的な改修・修繕を行ったことにより、利用しやすい施設の充実を図った。今後も計画的な改修・修繕及び備品の更新に努めていく。 また、稼働率、利用者数ともに目標達成に至っていない。より多くの方に利用いただくため、広報紙やSNSの活用をし、周知していく必要がある。								

政策4 施策1

事業No.	4-1-22	事業名	スポーツ施設の機能・整備の充実				担当課	スポーツ推進課			
事業内容			総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、民間活力も活用しながら、利用しやすい機能・設備を備えた施設の充実を図るとともに、計画的な改修・修繕及び備品の更新に努めます。						予算額 ※千円	決算額 ※千円	
									47,537	40,832	
令和6年度計画			(1)たつのこアリーナ:温水ヒーター更新工事、ウォータースライダー改修工事 (2)たつのこスタジアム:グラスライン改修工事 (3)屋内施設:網戸設置工事								
令和6年度実施内容			(1)たつのこアリーナ:温水ヒーター更新工事、中水用加圧給水ポンプ交換工事 (2)たつのこスタジアム:グラスライン改修工事 (3)屋内施設:網戸設置工事								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値		種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
		☆	たつのこアリーナ利用者(個人)、たつのこフィールド・スタジアム・屋外施設利用者の満足度 【スポーツ推進課】	%	アリーナ79.8 屋外施設81.1 (令和元年度)	目標	アリーナ78 屋外施設79	アリーナ78 屋外施設80	アリーナ79 屋外施設81	アリーナ80 屋外施設82	アリーナ80 屋外施設82
						実績	アリーナ87.0 屋外施設87.1	アリーナ82.0 屋外施設85.3			
				%	—	達成度	アリーナ112 屋外施設111	アリーナ105 屋外施設107	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、民間活力の活用も考慮しながら、高水準の機能・設備を備えた施設として充実を図るとともに、計画的な改修・修繕及び備品の更新に努めます。								
令和7年度計画			(1)たつのこアリーナ:ウォータースライダー改修工事、ろ過ポンプ更新工事、排煙窓開閉装置改修工事、熱源システムコントローラー更新工事、三方弁交換工事 (2)たつのこフィールド:メインスタンド防水工事 (3)たつのこスタジアム:スタンド防水工事、照明設備改修工事 (4)屋内施設:グラウンドフェンス改修工事								
予算額 ※千円	36,850										

政策4 施策1

事業No.	4-1-23	事業名	利用しやすい施設運営とサービスの充実				担当課	スポーツ推進課			
事業内容			指定管理者と連携を図りながら、利用者の視点に立った利用しやすい施設運営とサービスの充実に努めます。						予算額 ※千円	決算額 ※千円	
									—	—	
令和6年度計画			(1)指定管理者との定例会の開催 月次報告書を提出の上、毎月1回、指定管理者と定例会を開催し、利用等についての意見交換を行う。 (2)指定管理者選定委員会による事業評価 事業評価シートに基づき、事業の点検・評価を行い運営の改善等を行う。								
令和6年度実施内容			(1)指定管理者との定例会の開催 月次報告書を提出の上、毎月1回、指定管理者と定例会を開催し、利用等についての意見を交換を行いました。 (2)指定管理者選定委員会による事業評価 事業評価シートに基づき、事業の点検・評価を行い運営の改善等を行いました。								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値		種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
		☆	たつのこアリーナ(メインアリーナ)、 たつのこフィールド、たつのこスタジアムの稼働率 【スポーツ推進課】	%	アリーナ 86 フィールド58 スタジアム33 (令和元年度)	目標 実績	アリーナ 81 フィールド60 スタジアム35	アリーナ 83 フィールド61 スタジアム37	アリーナ 85 フィールド62 スタジアム39	アリーナ 86 フィールド63 スタジアム40	アリーナ 86 フィールド63 スタジアム40
				%	—	達成度	アリーナ 100 フィールド117 スタジアム94	アリーナ 93 フィールド115 スタジアム95	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		☆	総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数 (利用者数＋観覧者数) 【スポーツ推進課】	人	348,003 (令和元年度)	目標 実績	350,000	355,000	360,000	370,000	374,000
				%	—	達成度	90	86	0	0	0
		進捗状況			事業推進上の課題						
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			稼働率は伸びている一方、利用者が目標達成していないことから、より多くの方に利用いただくため、広報誌やSNSの活用をし、周知していく必要があります。								
令和7年度計画			(1)指定管理者との定例会の開催 月次報告書を提出の上、毎月1回、指定管理者と定例会を開催し、利用等についての意見交換を行う。 (2)指定管理者選定委員会による事業評価 事業評価シートに基づき、事業の点検・評価を行い運営の改善等を行う。								
予算額 ※千円	—										

政策4 施策1

事業No.	4-1-24	事業名	学校体育施設の開放事業の促進					担当課	スポーツ推進課		
事業内容			学校と連携を図りながら、施設面や利用方法の見直しを進めるなど、市民が身近な場所ですポーツに親しめる場となるよう夜間開放を実施します。						予算額 ※千円	決算額 ※千円	
									20	3	
令和6年度計画			学校と連携を図りながら、今後も多くの市民の方が利用できるよう学校体育施設の夜間開放事業を推進する。								
令和6年度実施内容			利用実績 95団体(小学校11校・中学校5校)								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	学校体育施設の夜間貸出割合 【スポーツ推進課】	%	91 (令和元年度)	目標	85	88	90	91	91	
				実績	90						
			%	—	達成度	106	0	0	0	0	
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			利用可能な体育施設に限りはあるが、毎年継続して利用を希望する団体も多く、新たに利用したい団体が借りにくい状態となっている。今後も学校の統廃合により利用できる体育施設の減少が見込まれるため、多くの市民が利用できるよう、1団体が利用できる回数を減らすなど方法を検討していく必要がある。								
令和7年度計画			学校と連携を図りながら、今後も多くの市民の方が利用できるよう学校体育施設の夜間開放事業を推進する。								
予算額 ※千円	91										

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート							政策4 施策2		
政策4		スポーツ環境の充実									
施策2		スポーツを通じた共生社会の推進									
主な事業		4-2-25	障がい者スポーツの推進・環境整備								
		4-2-26	女性のスポーツ実施率の向上								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数(障がい者) 【スポーツ推進課】	人	4,231 (令和元年度)	目標 実績	3,500 3,919	3,800 2,424	4,000	4,300	4,450	
			%	—	達成度	112	64	0	0	0	
	☆	運動やスポーツ活動のボランティア活動に参加したことがある16歳以上の市民の割合	%	10 (令和3年度) 市民意識調査	目標 実績	— —	— —	— —	— —	15	
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	
	☆	週1回以上のスポーツや運動をしている16歳以上の市民(女性)の割合	%	48.9 (令和3年度) 市民意識調査	目標 実績	— —	— —	— —	— —	70 (国の目標値)	
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	進捗状況		評価事項								
	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■		【スポーツ振興G】 市民スポーツ・レクリエーションまつりにおいては、年齢・体力・性別を問わず誰もが楽しめるニュースポーツを体験できる機会を提供し、障がい者スポーツの理解と普及が図れた。 【スポーツ推進課】 既存施設の点検及び利用者の意見を聴取しながら、施設の改善・改修を行ったが、R6年度も和式便器から洋式便器への切り替えが行えなかったことから、今後も施設の改修については、計画的に進めていく必要がある。R8年度に実施予定である。 市民スポーツ・レクリエーションまつりにおいては、年齢・体力・性別を問わず誰もが楽しめるニュースポーツを体験できる機会を提供し、障がい者スポーツの理解と普及が図れた。								

政策4 施策2

事業No.	4-2-25	事業名	障がい者スポーツの推進・環境整備				担当課	スポーツ推進課／障がい福祉課			
事業内容			・障がい者スポーツ大会への参加支援やイベントでの障がい者スポーツの体験会の実施など、スポーツを通じた障がい者の交流機会の確保と市民の障がい者スポーツへの理解を深める取組を推進します。 ・積極的なスポーツ施設の開放やバリアフリー化など障がい者の利用に配慮した施設運営に努めます。 ・流通経済大学やスポーツ団体等と連携を図りながら、スポーツイベント等のスポーツボランティア活動を推進します。					予算額 ※千円	決算額 ※千円		
								60	60		
令和6年度計画			【スポーツ推進課】 (1)既存施設の点検及び利用者の意見等を聴取しながら、障がい者だけではなく高齢者等、誰もが利用しやすい施設となるよう適宜改善を図る。また、和式便器から洋式便器への切り替えを検討していく。 (2)スポーツ・レクリエーションまつり等において、年齢・体力・性別を問わず誰もが楽しめるニュースポーツを体験できる機会を提供し、障がい者スポーツの理解と普及を図る。 【障がい福祉課】 (1)茨城県障害者スポーツ大会 ・個人：5月11日、12日、18日、19日、25日、26日 ・団体：9月7日、8日、21日、22日 笠松運動公園、大学ボウル水戸店 (2)地域身体障害者スポーツ大会(主催：つくばみらい市) ・9月28日 取手グリーンスポーツセンター 体育館								
令和6年度実施内容			【スポーツ推進課】 (1)既存施設の点検及び利用者の意見等を聴取しながら、障がい者だけではなく高齢者等、誰もが利用しやすい施設となるよう適宜改善を図った。 (2)市民スポーツ・レクリエーションまつり等において、年齢・体力・性別を問わず誰もが楽しめるニュースポーツを体験できる機会を提供し、障がい者スポーツの理解と普及を図った。 【障がい福祉課】 (1)茨城県障害者スポーツ大会 ・個人：5月11日、12日、18日、19日、25日、26日 ・団体：9月7日、8日、21日、22日 笠松運動公園、大学ボウル水戸店 ・市内からの参加人数：13名 (2)地域身体障害者スポーツ大会(主催：つくばみらい市) ・9月28日 取手グリーンスポーツセンター 体育館 ・市内からの参加人数：19名								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数(障がい者) 【スポーツ推進課】	人	4,231 (令和元年度)	目標	3,500	3,800	4,000	4,300	4,450	
				実績	3,919	2,424					
	☆	運動やスポーツ活動のボランティア活動に参加したことがある16歳以上の市民の割合	%	—	達成度	112	64	0	0	0	
%			10 (令和3年度) 市民意識調査	目標	—	—	—	—	15		
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒			【スポーツ推進課】 既存施設の点検及び利用者の意見等を聴取しながら、修繕や改修等を行った。和式便器から洋式便器への変更は行えなかったことから、今後も施設の改修については計画的に進めていく必要がある。R8年度実施予定である。 市民スポーツ・レクリエーションまつり等においては、多くの参加いただき、スポーツ活動の普及を図ることができた。 【障がい福祉課】 参加者が高齢化しているため、若い世代の積極的な参加が課題である。								
令和7年度計画			【スポーツ推進課】 既存施設の点検及び利用者の意見等を聴取しながら、障がい者だけではなく高齢者等、誰もが利用しやすい施設となるよう適宜改善を図る。また、和式便器から洋式便器への切り替えを検討していく。 市民スポーツ・レクリエーションまつり等において、年齢・体力・性別を問わず誰もが楽しめるニュースポーツを体験できる機会を提供し、障がい者スポーツの理解と普及を図る。 【障がい福祉課】 (1)茨城県障害者スポーツ大会 ・個人：5月10日、11日、17日、18日、24日、25日 笠松運動公園 ・団体：9月6日、7日、20日、27日 笠松運動公園 ・レクリエーション：9月13日 笠松運動公園 (2)地域身体障害者スポーツ大会(主催：牛久市) ・9月27日 牛久運動公園(予定)								
予算額 ※千円	60										

政策4 施策2

事業No.	4-2-26	事業名	女性のスポーツ実施率の向上				担当課	スポーツ推進課			
事業内容			女性のスポーツ実施意欲を向上させる取組や女性がスポーツを実施しやすい環境整備に努めます。						予算額 ※千円	決算額 ※千円	
									—	—	
令和6年度 計画			(1)たつのこアリーナ等の指定管理者が行うスポーツ教室は、女性の利用が多いため、参加者の動向を見ながら内容の充実を図る。 (2)たつのこアリーナの施設利用者向けに幼児体育室を設置し、スポーツを実施しにくい子育て世代の健康増進の環境整備を継続して行う。								
令和6年度 実施内容			自主事業:ヨガ、踏み台体操、メガダンス、フラダンス、ズンバ(女性限定にした取り組みはしていないが、女性が特に多く参加しているもの) 子どもを預け入れる施設の管理								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	週1回以上のスポーツや運動をしている16歳以上の市民(女性)の割合	%	48.9 (令和3年度) 市民意識調査	目標	—	—	—	—	70 (国の目標値)	
					実績	—	—	—	—		
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
進捗状況			事業推進上の課題								
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			自主事業であるストレッチ、ヨガ、踏み台体操、メガダンス等で、女性のスポーツが行いやすい環境を提供できた。また、全体的に女性参加率が高く、女性のスポーツ実施意欲が高いと感じる。しかしながら、男性の教室参加率が低いことから、男女ともに参加できるような教室の検討が必要である。								
令和7年度 計画			指定管理者での自主事業として、継続して教室関連を行う。 また、教室に参加している際に、子どもを預け入れる施設も継続し管理を行う。								
予算額 ※千円		—									

令和6年度		第3次スポーツ推進計画 進捗管理シート						政策4 施策3				
政策4		スポーツ環境の充実										
施策3		スポーツに関する情報提供の充実										
主な事業		4-3-27	スポーツ施設・教室・大会等に関する情報提供の充実									
		4-3-28	スポーツ団体に関する情報提供の推進									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年		
	☆	スポーツの情報提供に満足している16歳以上の市民の割合	%	14.8 (令和3年度) 市民意識調査	目標 実績	—	—	—	—	20		
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0		
	☆				目標 実績							
			%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
	☆				目標 実績							
			%	—	達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
	進捗状況		評価事項									
	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ☒		広報紙やインターネットに加え、様々な媒体を活用したイベント等の周知も必須だが、年代ごとに使用するSNSが異なるため、それぞれのニーズに合った情報を選び掲載していく必要がある。									

政策4 施策3

事業No.	4-3-27	事業名	スポーツ施設・教室・大会等に関する情報提供の充実				担当課	スポーツ推進課			
事業内容			市のスポーツ施設の利用案内や指定管理等が行うスポーツ教室・イベント等の情報を提供するとともに、気軽にできる健康・体力づくりなどの情報を提供します。また、情報提供に当たっては、イベント等の特性や各年代に応じた発信方法を検討し、より効果的な情報発信に努めます。					予算額 ※千円	決算額 ※千円		
								—	—		
令和6年度 計画			(1) 広報紙「りゅうほー」による情報提供 月2回発行する広報紙に施設情報やスポーツイベント・教室等を掲載 (2) ホームページやSNSによる情報提供 イベントやスポーツ教室等の詳細な案内を臨機応変に提供 (3) 総合運動公園内スポーツ施設の掲示板等の活用 総合運動公園内施設の掲示板等へ、スポーツイベント・教室等のスポーツ関連情報の掲載								
令和6年度 実施内容			(1) 広報紙「りゅうほー」による情報提供 月2回発行する広報紙に施設情報やスポーツイベント・教室等を掲載し、利用者へ周知を図った。 (2) ホームページやSNSによる情報提供 リレーマラソン大会やスポレクまつりなど各スポーツイベントの情報や実施報告などを定期的に掲載し、周知を図った。令和6年度からTOKIWAスタジアム龍ヶ崎のスコアボードが改修され、フル画面LEDスコアボードとなり、利用者に対して周知を行った。 (3) 総合運動公園内スポーツ施設の掲示板等の活用 総合運動公園内施設の掲示板等へ、スポーツイベント・教室等のスポーツ関連情報の掲載を行った。								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	スポーツの情報提供に満足している16歳以上の市民の割合	%	14.8 (令和3年度) 市民意識調査	目標	—	—	—	—	20	
			%	—	実績	—	—	—	—	0	
進捗状況			事業推進上の課題								
■ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■			年代によって使用するSNSが異なるため、それぞれのニーズに合った広報媒体を選択し掲載していく必要がある。								
令和7年度 計画			(1) 広報紙「りゅうほー」による情報提供 月1回発行する広報紙に施設情報やスポーツイベント・教室等を掲載 (2) ホームページやSNSによる情報提供 イベントやスポーツ教室等の詳細な案内を臨機応変に提供 (3) 総合運動公園内スポーツ施設の掲示板等の活用 総合運動公園内施設の掲示板等へ、スポーツイベント・教室等のスポーツ関連情報の掲載								
予算額 ※千円	—										

政策4 施策3

事業No.	4-3-28	事業名	スポーツ団体に関する情報提供の推進					担当課	スポーツ推進課		
事業内容			スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等の魅力や活動内容など、スポーツ団体の幅広い情報提供に努めます。						予算額 ※千円	決算額 ※千円	
									—	—	
令和6年度計画			広報紙「りゅうほー」やホームページを活用し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、スポーツ少年団等の魅力や活動内容等を掲載し、市内スポーツ団体の活動内容の周知や情報提供を行う。								
令和6年度実施内容			広報紙「りゅうほー」やホームページを活用し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、スポーツ少年団等の魅力や活動内容等を掲載し、市内スポーツ団体の活動内容の周知や情報提供を行った。								
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値	数値	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
	☆	スポーツの情報提供に満足している16歳以上の市民の割合	%	14.8 (令和3年度) 市民意識調査	目標	—	—	—	—	20	
				実績	—	—	—	—			
			%	—	達成度	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	
進捗状況		事業推進上の課題									
☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 遅れている ☐ 見直しが必要 ※当てはまる事項に ■		今後も、広報紙「りゅうほー」やホームページに加え様々な媒体を活用し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、スポーツ少年団等の魅力や活動内容等を掲載し、各団体が行う事業への参加や加入促進を図っていく必要がある。									
令和7年度計画		広報紙「りゅうほー」やホームページを活用し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、スポーツ少年団等の魅力や活動内容等を掲載し、市内スポーツ団体の活動内容の周知や情報提供を行う。									
予算額 ※千円	—										

「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」 基本構想



スポーツクライミングが地域の魅力となり、
誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ

©Shinta Ozawa

本市の目指す姿と取り組み

本市では子育て世代をはじめとした若者の「転出抑制」や「定住促進」が喫緊の課題となっている中で、若者を呼び込みまちが活性化するコンテンツが必要となっています。

龍ヶ崎市が目指す姿

- ✓2022年12月に、最上位計画「龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030」を策定し、本市のあるべき姿として「**Creation -ともに創るまち・龍ヶ崎-**」を掲げています。
- ✓その中で、本市が抱える課題への的確な対応や、「住み続けたいまち」の構築に向けて、特に重要となる施策を「未来」「魅力」「幸せ」の3つのリーディングプロジェクトとして位置付け、「若者世代の定住促進」や「誰もが楽しめるスポーツ社会の実現」などの施策について、重点的かつ優先的に取組を進めています。

課題

- ✓人口減少、特に若者の流出が顕著な状況となっており、**大学卒業や就職を機に、特に20代の流出が大きく、直近の令和5年度では、年間200人以上の転出超過**の状況となっています。
- ✓市街地における人口の空洞化や空地・空家の発生といった「**都市のスポンジ化**」が懸念されており、**人口減少社会に対応した都市構造への転換**が求められています。

若者を呼び込む取り組み(現状)

- ✓若者や子育て世代を対象とした移住支援金の交付など**経済的な支援**に取り組んでいます。
- ✓森林公園のリニューアルや保健福祉棟多世代交流センターの整備など**若者に響く魅力アップ**が進んでいる。
- ✓プロスポーツチームや流通経済大学との連携など、トップアスリートを含めた**高いレベルのスポーツに触れる環境**が整っています。

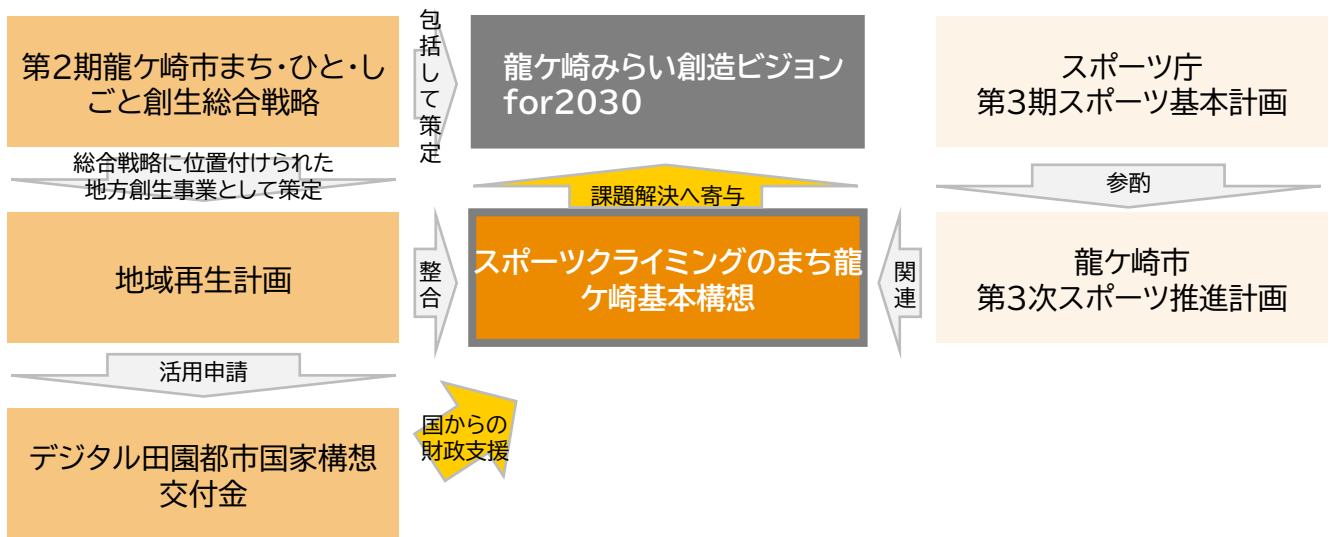
若者を呼び込む本市の取り組み(提案)

オリンピック、トップクライマーが身近に存在する恵まれた環境が本市にはあります。そこで、“スポーツクライミング”を一つのコンテンツとしてまちを活性化させ、若者を誘引することを目指します。

基本構想の位置付けと構想策定アプローチ

本事業は、龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030に包括された第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける地方創生の取り組みを推進するものです。

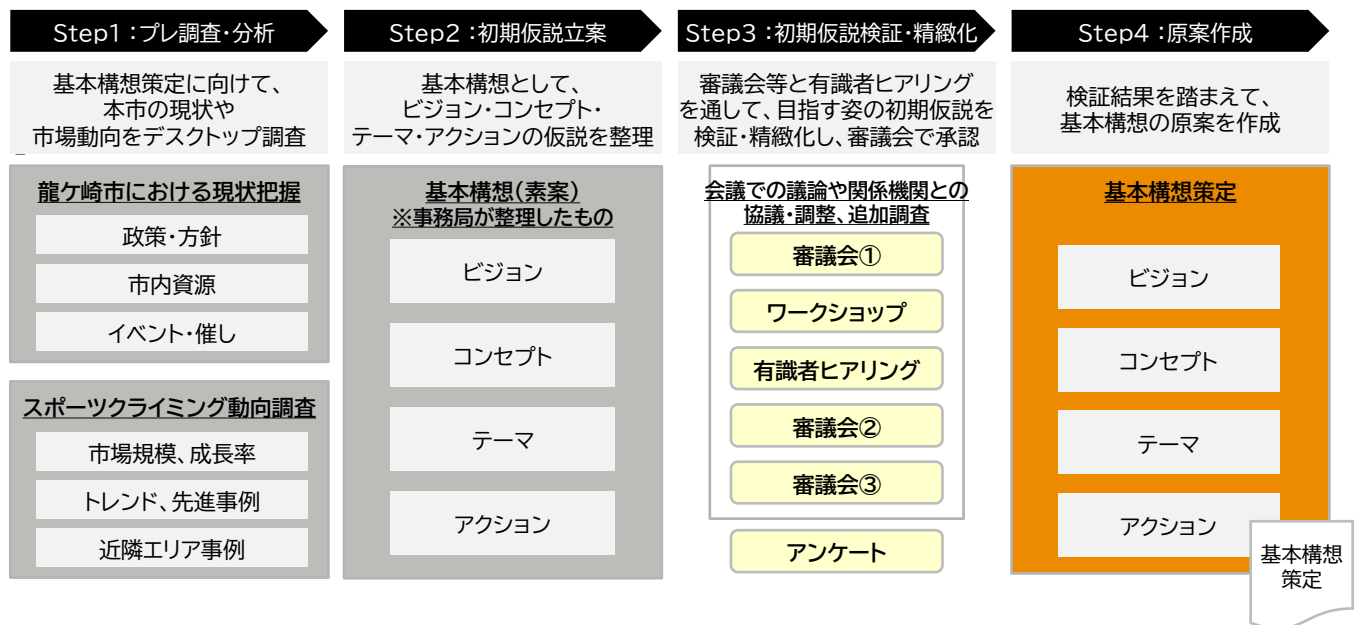
- 本事業は龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030で課題と位置付けている若者世代の転出超過やシビックプライド醸成などの課題解決の促進を目指し、デジタル田園都市国家構想交付金の採択を受けているため、採択の要件となっている地域再生計画と整合を図っています。
※デジタル田園都市国家構想交付金は、まち・ひと・しごと地方創生総合戦略に位置付けられた取組を後押しする制度です。



調査・分析結果から導出した目指す姿の仮説を基に、審議会やヒアリング等を通して基本構想の策定を行いました。

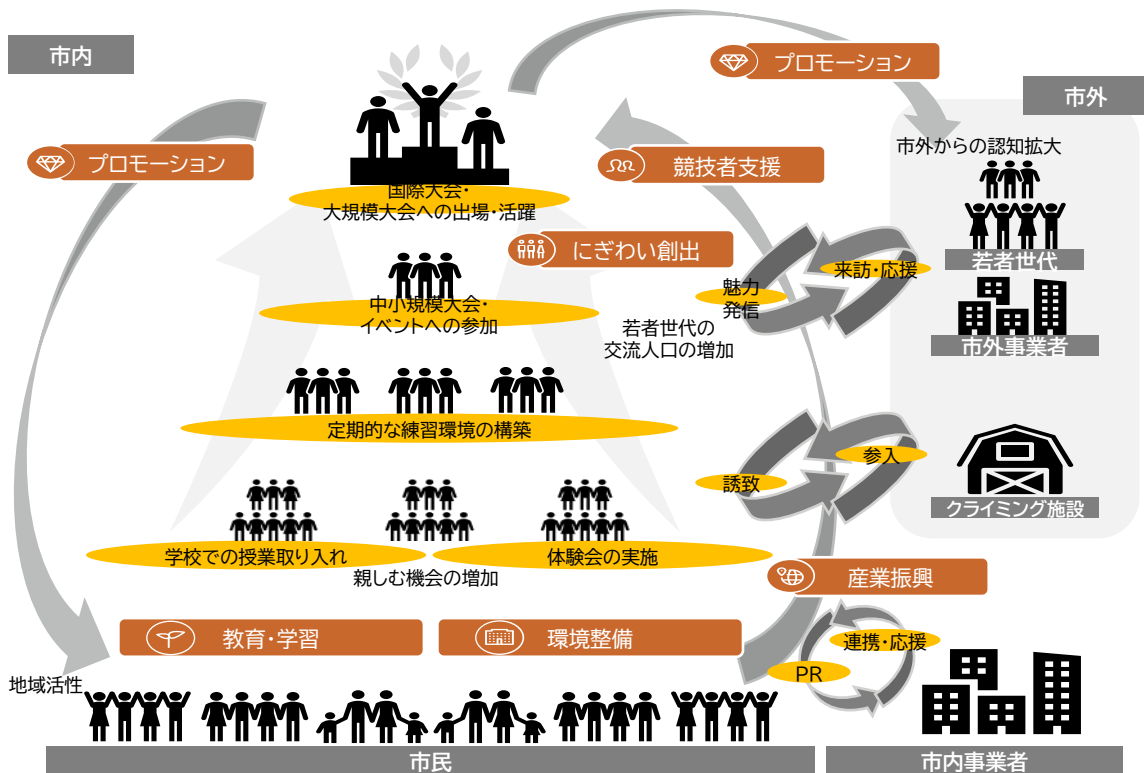
基本構想作成のポイント

- 本市の現状や市場動向の調査結果を基に、スポーツクライミングのまちとして目指す姿の初期仮説を作成し、**関係者の想いや実現性に関するご意見を踏まえた精緻化を行う**ことで、基本構想を作成します。



「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の将来像

市民がスポーツライミングに親しみをもち、選手の活躍や特徴のある取り組みにより、地域活性化や認知度の向上、交流人口の増加に繋がる好循環の実現に向けて、仕組みと環境を整備していきます。



ビジョン スポーツライミングが地域の魅力となり、誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ

4つのコンセプト

① スポーツライミングのトップ選手の活躍が地域を元気にする

トップ選手の存在は夢と希望を与え、その活躍は一体感や誇りを生み出す力を持っています。そのため、トップ選手・次世代クライマーを応援する環境と、選手も応え、積極的に地元貢献する好循環を目指します。

② スポーツライミングのまちとして知られ、市外から人が訪れる

選手の活躍や特徴あるイベント等を通して「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」が市内外から認知され、若者世代を中心とした交流人口の増加や、自発的に魅力が発信される取り組みを推進します。

③ スポーツライミングの次世代への挑戦を支える環境がある

意欲の高い次世代を担う子どもたちなどの挑戦を支える環境づくりに努めます。

④ スポーツライミングに親しみを持っている

幅広い層の市民が体験や応援を通してスポーツライミングの魅力に触れ、親しみを感じる機会を創出します。

基本構想の全体像

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の実現に向け、6つの注力するテーマに整理するとともに、10のアクションを設定し、施策を展開します。

ビジョン

スポーツライミングが地域の魅力となり、
誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ

4つの
コンセプト

スポーツライミングのトップ選手の
活躍が地域を元気にする

スポーツライミングのまちとして
知られ、市外から人が訪れる

スポーツライミングの次世代への
挑戦を支える環境がある

スポーツライミングに親しみを
持っている

テーマ



教育・学習

学校連携

体験会開催



にぎわい創出

大会誘致・開催



産業振興

地域の名物等と
の連携



競技者支援

アスリート支援



プロモーション

市内向けプロモーション

市外向けプロモーション



環境整備

環境整備

人材確保

資金調達



基本構想の位置付けと構想策定アプローチ（1/2）

各アクションの実行を通じて、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」を推進します

① 学校連携

目的

スポーツライミングの普及促進を図るとともに、多様なスポーツ体験の機会を提供します。また、意欲の高い子どもの活動機会の確保に取り組みます。

施策概要

教育機関等におけるスポーツライミングの体験・学習の機会を創出します。（授業導入・キャリア教育・ウォール設置・定期的な練習会等）

② 体験会開催

目的

スポーツライミングを身近に感じ、関心を高める機会として体験会を開催します。また、幅広い世代の交流機会につなげます。

施策概要

幅広い年代が集まる市内のイベントやにぎわいの場と連携し、スポーツライミング体験会を開催します。

③ 大会の誘致・開催

目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」として象徴的なにぎわいイベントの開催等により交流人口の拡大と地域経済の活性化及び関心度を高めます。

施策概要

大規模大会（World Cup、JAPAN CUP等）や市民が出場できる大会等の誘致・開催や、スポーツライミングと親和性の高いコンテンツとのかけ合わせイベントを行います。

④ 地域の名物等との連携

目的

大会・イベントでの出店により、地域経済の活性化を図るとともに魅力を発信します。また、スポーツライミングと地域の名物を掛け合わせた商品開発等により相乗効果を生み出します。

施策概要

にぎわいイベント等を活用した地域の名産品等のプロモーションやスポーツライミングに関連した商品開発を促進します。

⑤ 市内に向けたプロモーション

目的

市内の「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の認知度を高めるとともに、興味喚起を図り、本事業への参画意欲を高めます。

施策概要

スポーツライミング推進のシンボルとして、市内活動やイベント、情報発信等に活用可能なコンテンツを作成します。

基本構想の位置付けと構想策定アプローチ（2/2）

各アクションの実行を通じて、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」を推進します

⑥ 市外に向けたプロモーション

目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」として、本市ならではのコンテンツを作成・発信し、認知度を高めるとともに、本市のファン化や来訪意欲の創出につなげます。

施策概要

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」と市の魅力を組み合わせたコンテンツを作成し広く発信します。

⑦ アスリート支援

目的

アスリートの郷土愛の醸成や市外からの移住を促進します。また、多様な人々の本事業への連携・協力意向の醸成に取り組みます。

施策概要

トップ選手や次世代アスリートを対象とした資金・PR・就業等の援助等により、まちづくりにおける連携・協力意向を醸成します。また、市民とアスリートの交流機会を創出します。

⑧ スポーツライミング環境整備

目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」として、事業を展開する上で、求められる拠点や体制を様々な視点から検証し、持続可能な環境整備の方向性を検討します。

施策概要

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」に必要な環境整備の実現性を検討します。また、本市におけるスポーツライミング競技団体の組織化を目指します。

⑨ 人材確保

目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」事業の推進に必要な様々な特徴を持つ人材を確保し、持続可能な運営体制を整備します。

施策概要

国の制度等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続的な推進に求められる人材を確保します。

⑩ 資金調達

目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」事業の持続可能な運営に向け、財源の確保に努めます。

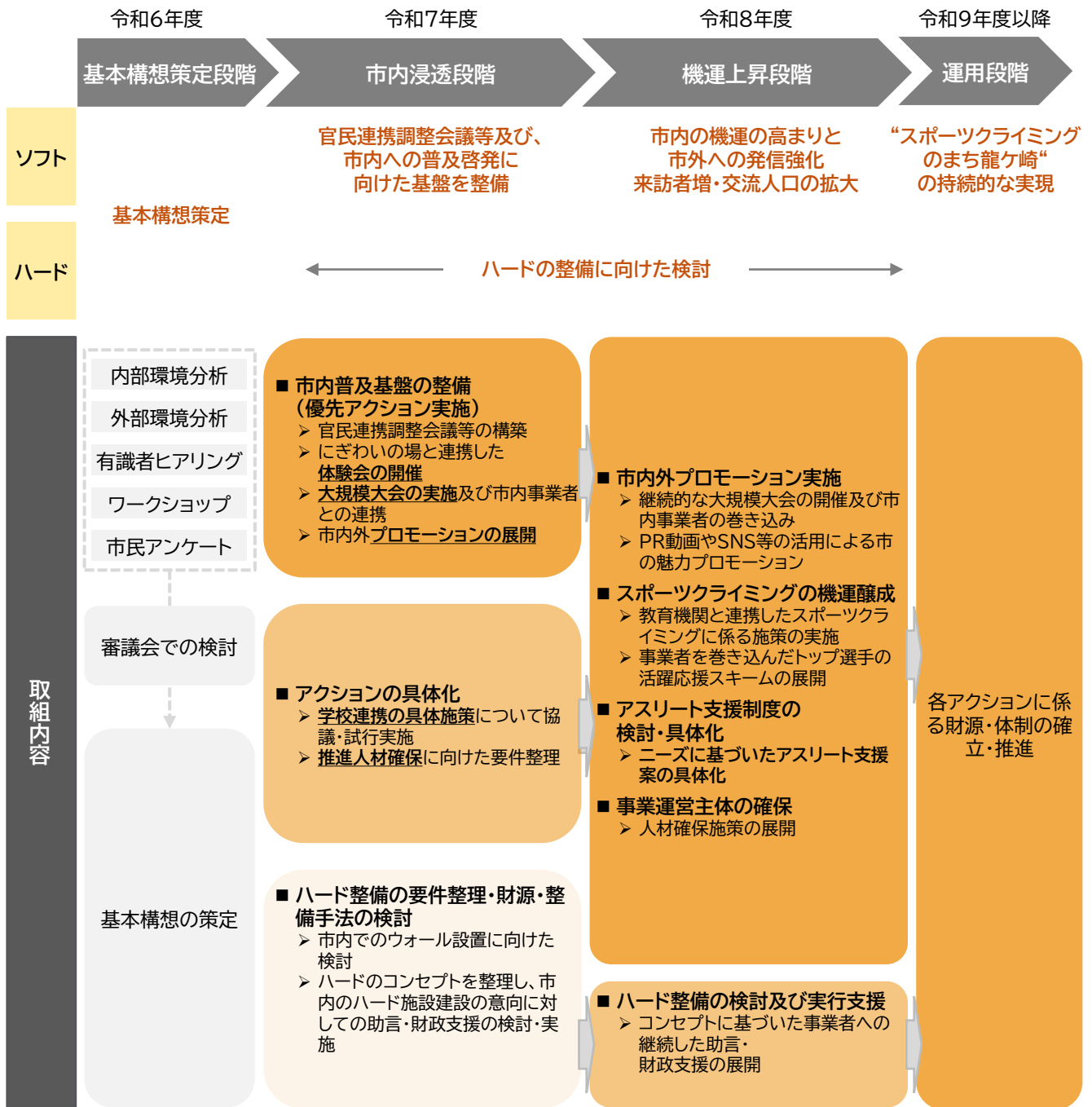
施策概要

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続可能な事業運営に向けた財源確保手法を整理します。

本事業の今後の計画

「スポーツライミングのまち龍ケ崎」の実現に向け、普及啓発に向けた基盤整備に注力しながら、事業を推進します。

▼ ジャパンカップ等の実施 ▼ ワールドカップ等の実施



凡例: 実行 計画 検討